

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	からだの仕組みⅠ
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	西川彰
7. 授業形式	プレゼンテーションソフトを用いたスライドにより関連する写真やイラストを呈示しながら、さらに板書を組み合わせた講義形式で授業を進めていく。
8. 授業の目標	この授業では、構造学的な特徴を学ぶだけでなく、その機能や病態との関連性についても理解を深めることを目標とする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	毎回の授業時には教科書並びに配布プリントを必ず持参すること。
11. 教科書	東洋療法学校協会 編、『解剖学 第2版』，医歯薬出版
12. 副読本	野村巖 監修、『解剖学ワークブック』，医歯薬出版
13. 推薦参考図書	坂井建雄 監訳、『プロメテウス解剖学 コア アトラス 第4版』，医学書院

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第1章 人体の構成	人体の構成要素，人体の区分と方向
2	第10章 運動器系	下肢の骨格（下肢帯の骨）
3	第10章 運動器系	下肢の骨格（自由下肢の骨）
4	第10章 運動器系	下肢の骨格（下肢の関節：股関節，膝関節）
5	第10章 運動器系	下肢の骨格（下肢の関節：足関節，足部・足趾の関節）
6	第1章 人体の構成	細胞（細胞の構造）
7	第1章 人体の構成	細胞（細胞分裂と遺伝子）
8	第1章 人体の構成	組織（上皮組織，結合組織：線維性結合組織）
9	第1章 人体の構成	組織（結合組織：軟骨組織，骨組織，血液とリンパ）
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
11	第1章 人体の構成	組織（筋組織，神経組織）
12	第1章 人体の構成	体表構造（皮膚）
13	第6章 生殖器系	受精と発生（受精，卵割，着床）
14	第6章 生殖器系	受精と発生（胚葉の形成，胎盤）
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
④	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	からだの仕組みⅡ
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	西川 彰
7. 授業形式	PC(PowerPoint)を用いての講義
8. 授業の目標	からだの仕組みⅠで学習した人体の構成概要から、系統別での詳細な構造各論へと知識を深める。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	講義の妨げになるような行為や周囲の友人に迷惑をかける事
11. 教科書	『解剖学 第2版』 社団法人 東洋療法学校協会編
12. 副読本	『ネッター解剖学アトラス 第4版』 F.H.Netter 著 相磯 貞和 訳 南江堂
13. 推薦参考図書	『イラスト解剖学 第7版』 松村 譲児 著 中外医学社 『解剖学講義 改訂3版』 伊藤 隆 著 南山堂

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	ガイダンス	後期授業の進行予定説明と授業内容の説明
2	第2章 循環器系	循環（血管系およびリンパ系）の概要
3	第2章 循環器系	心臓の構造詳細
4	第2章 循環器系	動脈の分岐・走行
5	第2章 循環器系	静脈の分岐・走行
6	第2章 循環器系	胎児循環・リンパ管の走行
7	第2章 循環器系	リンパ性器官の構造詳細
8	第3章 呼吸器系	呼吸器系の概論および鼻腔の構造詳細
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
9		後期中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
10	第3章 呼吸器系	喉頭（声帯）の構造詳細
11	第3章 呼吸器系	気管・気管支の構造詳細
12	第3章 呼吸器系	肺の構造詳細
13	第6章 生殖器系	女性生殖器の詳細構造および男女の相同器官
14	第6章 生殖器系	胎盤と発生
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
④	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験
⑤	統合教育科目Ⅰ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	からだの働き I
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	天貝 裕地
7. 授業形式	講義 タブレットPC・プロジェクター使用
8. 授業の目標	生理学は正常な体の機能を理解するために欠かせない基礎的学問です。本科目は体を構成する様々な器官の働きを確実に理解することを目指します。 到達目標 基礎分野の“生理学”の神経、筋に関し十分な知識を習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業予定範囲の教科書をよく読むこと。不明な点があればすぐに質問し、その場で理解するように努めること。復習を怠らないこと。
11. 教科書	『生理学』第3版 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	特になし
13. 推薦参考図書	特になし

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	イントロダクション	生理学とは
2	第1章 生理学の基礎	生理機能の特徴 ・ 細胞の構造と機能
3	第1章 生理学の基礎	細胞の構造と機能 ・ 物質代謝
4	第1章 生理学の基礎	体液の組成と働き ・ 物質移動
5	第10章 神 経	ニューロンの構造と働き ・ 神経線維の興奮伝導
6	第10章 神 経	神経線維の興奮伝導 ・ シナプス伝達
7	第10章 神 経	中枢神経系の分類と機能
8	第10章 神 経	反射 ・ 脊髄 ・ 脳幹 ・ 小脳 ・ 視床 ・ 視床下部
9	第10章 神 経	大脳 ・ 脳脊髄液 ・ 末梢神経系 ・ 自律神経系
①	統合教育科目 I	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目 I	試験結果と振り返り授業
11	第11章 筋	骨格筋の構造と働き
12	第11章 筋	筋の収縮の仕組み
13	第11章 筋	筋のエネルギー供給の仕組み
14	第11章 筋	心筋と平滑筋
③	統合教育科目 I	総復習
④	統合教育科目 I	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目 I	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	からだの働きⅡ
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	天貝 裕地
7. 授業形式	講義 タブレットPC・プロジェクター使用
8. 授業の目標	ねらい 生理学は正常な体の機能を理解するために欠かせない基礎的学問です。本科目は体を構成する様々な器官の働きを確実に理解することを目指します。 到達目標 専門基礎分野の『生理学』の神経、筋に関し十分な知識を習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業予定範囲の教科書をよく読むこと。不明な点があればすぐに質問し、その場で理解するように努めること。復習を怠らないこと。
11. 教科書	『解剖生理』第1版 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『いちばんやさしい生理学』加藤尚志 他著 成美堂出版
13. 推薦参考図書	特になし

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	3 神経系(運動の調節)	運動性の下行路（錐体路・錐体外路）
2	3 神経系(運動の調節)	感覚系の伝導路（体性感覚/特殊感覚の伝導路）
3	3 神経系(運動の調節)	骨格筋の神経支配（ α 運動神経と運動単位・筋紡錘と腱器官）
4	3 神経系(運動の調節)	運動反射（脊髄反射・姿勢反射・その他の反射・運動の調節）
5	4 感覚器系	感覚の一般的性質（感覚の種類・感覚の特徴）
6	4 感覚器系	視覚（眼球の構造・視力と視野・視覚伝導路・眼球運動・眼球に関する反射）
7	4 感覚器系	聴覚（耳の構造・聴覚と聴力）
8	4 感覚器系	平衡感覚（平衡感覚器の構造・平衡感覚の調節）
9	4 感覚器系	味覚（味覚受容器・味覚と舌の体性感覚・伝導路） 嗅覚（嗅覚受容器と嗅覚伝導路・嗅覚の性質）
10		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
11	4 感覚器系	体性感覚と内臓感覚（皮膚の構造と機能・表在感覚・深部感覚・伝導路・内臓感覚）
12	4 感覚器系	痛覚（痛みの種類・痛みの機序）
13	11 生体のリズム ほか	生体の適応（機構馴化・高地馴化） 恒常性維持（ホメオスタシス・内部環境の調節）
14	11 生体のリズム ほか	生体のリズム（日内リズム・短いリズム・長いリズム）
②	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験
③	統合教育科目Ⅰ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	外国語
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	鈴木 恵子
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	英語によるコミュニケーション能力の修得
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	3分の2以上の出席で受験資格を得る。また、授業内の課題の提出状況も成績評価に反映する。
11. 教科書	英会話トレーニング
12. 副読本	これから始める英会話（ナツメ社）Medical World Waikabout（成美堂）
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	日常会話（初級）	発音の注意点、あいさつ／自己紹介／気持ち／お礼とおわび、対話～したい
2		初級文法の説明、性格・外見／天気／食事／体調、対話（病気の時）
3		初級文法の説明、声をかける／注意・命令／人体の器官の名称、対話（病気の時）
4	旅行会話（初級）	文法（時制の説明）、あいさつ／ショッピング、対話（レストランにて）
5		電車、タクシー／ホテル／観光スポット、日本語の言葉を英語で説明（居酒屋、回転寿司）
6		エステ／自己紹介／トラブル、日本語の言葉を英語で説明（台風、梅雨）
7		状況に応じた対話を作成、発表
8		振り返り授業
9		後期中間試験
		総復習
10	日常会話（中級）	相手を知る、誘い、自己紹介 対話練習（プレゼント）
11		別れの挨拶、話のきっかけ、相手への気遣い 対話練習（あいづちをうつ）
12		人の性格、仕事の話、励ましの言葉 対話練習（スポーツ）
13		議論する、口説く、がっかりする 対話練習（感情を表す）
14		天気、文章読解（日本語の言葉を英語で説明）
		総復習
15		後期期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	健康科学
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	庄司 智則
7. 授業形式	視聴覚機器を利用しながら、講義形式で進めていきます。
8. 授業の目標	小児から高齢者にいたるまで体や心がどのような変化をしていくのかを学び、各世代のスポーツの楽しみ方や関わり方について理解します。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	はじめて耳にするような専門用語がでてきますので、復習は必ず行って下さい。
11. 教科書	必要に応じて資料を配布します。
12. 副読本	『体力学』中谷敏昭編 化学同人、『新・スポーツ医学』藤本繁夫ら編 嵯峨野書院
13. 推薦参考図書	財団法人日本スポーツ協会・公認スポーツ指導者養成テキスト：リファレンスブック

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第1回	ガイダンス、健康とは
2	第2回	スポーツと健康
3	第3回	体力とは1
4	第4回	体力とは2
5	第5回	健康と体力の関係1
6	第6回	健康と体力の関係2
7	第7回	健康と体力の関係3
8	第8回	体力テストの方法
9	第9回	中間試験
①	統合教育科目 I	試験結果と振り返り授業
10	第10回	体力の発育発達1
11	第11回	体力の発育発達2
12	第12回	子供に必要な運動刺激
13	第13回	幼少年期に必要な運動
14	第14回	行動を起こす体力の加齢変化
②	統合教育科目 I	総復習
15	第15回	期末試験
③	統合教育科目 I	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	コミュニケーション
2. 科目分類	基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	庄司 智則
7. 授業形式	視聴覚機器を利用しながら、講義形式で進めていきます。
8. 授業の目標	1年生の「健康科学」で学習したことを基礎として、各世代に起こりやすいスポーツのケガや予防のためのトレーニング方法、そして具体例として腰部のアスレティックリハビリテーションを詳しく学習します。また、スポーツをコミュニケーションツールの1つとして活用する方策を模索し、具体的な方法について学生が実践できる力を身につけます。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	はじめて耳にするような専門用語がでけますので、復習は必ず行って下さい。
11. 教科書	必要に応じて資料を配布します。
12. 副読本	『子どもを輝かせるスポーツコミュニケーションスキル』山口文子 体育とスポーツ出版社、『スポーツコミュニケーション』東海林祐子
13. 推薦参考図書	『基礎から学ぶスポーツトレーニング理論』伊藤マモル監修 日本文芸社

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第1回	ガイダンス、スポーツによって起こるケガ
2	第2回	スポーツ障害 1
3	第3回	スポーツ障害 2
4	第4回	予防のためのトレーニング
5	第5回	腰部のアスレティックリハビリテーション1
6	第6回	腰部のアスレティックリハビリテーション2
7	第7回	スポーツコミュニケーション
8	第8回	総復習
9	第9回	中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
10	第10回	学生発表 1、年齢に応じた指導
11	第11回	学生発表 2、効果的なほめ方
12	第12回	学生発表 3、効果的な叱り方
13	第13回	学生発表 4、やるきの育て方
14	第14回	学生発表 5、目標達成シート1
②	統合教育科目Ⅱ	総復習
15	第15回	期末試験
③	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	解剖学Ⅰ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	千木良 美歩
7. 授業形式	講義及び演習
8. 授業の目標	運動器の基礎の修得を目指し、修得方法を実践する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	教科書や配布資料、課題の準備を行い、自身で調べ他の学生と共有することを実践してください。
11. 教科書	医歯薬出版株式会社「解剖学」第2版
12. 副読本	ネッター解剖学
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第10章 運動器系	I. 総論 1. 骨格系（第1章の一部）
2		II. 全身の骨格 2. 上肢の骨格
3		I. 総論 2. 筋系（第1章の一部）
4		IV. 上肢 1. 上肢の筋
5		IV. 上肢 2. 上肢の運動
6		V. 下肢 1. 下肢の筋
7		V. 下肢 2. 下肢の運動
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
8		中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
9		II. 全身の骨格 1. 脊柱 2. 胸郭
10		III. 体幹 1. 体幹の筋
11		III. 体幹 2. 体幹の運動
12		II. 全身の骨格 5. 頭蓋骨
13		II. 全身の骨格 5. 頭蓋骨
14		VI. 頭頸部 1. 頭頸部の筋
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		期末試験
③	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	解剖学Ⅱ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	小野 かおり
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	人体の名称や正常な構造・特徴を理解することを目指す。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るためには3分の2以上の出席が必要です。 プリント等の再配布はしないので、なくさないようにしてください。
11. 教科書	『解剖学』東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『解剖学ワークブック』医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第4章 消化器系	消化器の構造（消化器の基本構造、口腔）
2	第4章 消化器系	消化器の構造（口腔、咽頭、食道）
3	第4章 消化器系	消化器の構造（胃）
4	第4章 消化器系	消化器の構造（小腸、大腸）
5	第4章 消化器系	消化器の構造（肝臓・胆嚢）
6	第4章 消化器系	消化器の構造（膵臓・腹膜）
7	第5章 泌尿器系	泌尿器の構造（腎臓）
8		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
9	第5章 泌尿器系	泌尿器の構造（尿路）
10	第6章 生殖器系	生殖器の構造（男性生殖器）
11	第6章 生殖器系	生殖器の構造（男性生殖器）
12	第7章 内分泌系	内分泌系の構造（下垂体、松果体）
13	第7章 内分泌系	内分泌系の構造（甲状腺、上皮小体、副腎）
14	第7章 内分泌系	内分泌系の構造（膵臓、性腺）
15		後期期末試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	解剖学Ⅲ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	星 伴路
7. 授業形式	PC(PowerPoint)を用いての講義
8. 授業の目標	第1学年の解剖学、生理学で学習した人体の構造・機能を念頭に置いて、まだ終えてない範囲(神経系・感覚器系)との関係性を整理しつつ、理解を深める。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	講義の妨げになるような行為や周囲の友人に迷惑をかける事
11. 教科書	『解剖学 第2版』 社団法人 東洋療法学校協会編
12. 副読本	『ネッター解剖学アトラス 第4版』 F.H.Netter 著 相磯 貞和 訳 南江堂
13. 推薦参考図書	『イラスト解剖学 第7版』 松村 譲児 著 中外医学社 『解剖学講義 改訂3版』 伊藤 隆 著 南山堂

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		1年次の解剖学領域の確認と2年次の解剖学の進行予定
2	第8章 神経系	神経系概要（神経組織の構成確認）
3	第8章 神経系	神経系(中枢)；脳脊髄共通の構造(脳室系・髄膜・脳脊髄液)
4	第8章 神経系	神経系(中枢)；脊髄の構造の確認と各分節の構造における特徴
5	第8章 神経系	神経系(中枢)；脳部位の確認と終脳における核・白質の特徴
6	第8章 神経系	神経系(中枢)；脳幹・小脳における核・白質の特徴
7	第8章 神経系	神経系(末梢)；脳神経の構成とそれぞれの走行
8	第8章 神経系	神経系(末梢)；脊髄神経の構成と脊髄神経後枝について
9	第8章 神経系	神経系(末梢)；脊髄神経前枝と神経叢(頸神経叢・腕神経叢)
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
11	第8章 神経系	神経系(末梢)；神経叢(頸神経叢・腕神経叢)
12	第8章 神経系	伝導路(運動伝導路・体性感覚伝導路)
13	第9章 感覚器系	視覚・聴覚・平衡覚の受容器の構造
14	第9章 感覚器系	味覚・嗅覚・一般感覚受容器の構造と感覚伝導路
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
④	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	解剖学Ⅳ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	星 伴路
7. 授業形式	PC(PowerPoint)を用いての講義
8. 授業の目標	これまでに得た知識の整理し、苦手範囲抽出と更なる人体構造の理解を目指す。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	事前に講義範囲を復習し、疑問点のある程度まとめておく事
11. 教科書	『解剖学 第2版』 社団法人 東洋療法学校協会編
12. 副読本	『ネッター解剖学アトラス 第4版』 F.H.Netter著 相磯貞和訳 南江堂
13. 推薦参考図書	『イラスト解剖学 第7版』 松村 譲児 著 中外医学社 『解剖学講義 改訂3版』 伊藤 隆 著 南山堂

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		解剖学領域の国家試験の傾向と対策概要
2	第1章 人体の構成	国家試験の傾向と対策（組織学）
3	第6章 生殖器系	国家試験の傾向と対策（発生学）
4	第10章 運動器系	国家試験の傾向と対策（運動器－骨・関節－）
5	第10章 運動器系	国家試験の傾向と対策（運動器－筋・運動様式－）
6	第2章 循環器系	国家試験の傾向と対策（循環器－心臓・動脈－）
7	第2章 循環器系	国家試験の傾向と対策（循環器－静脈・胎児循環－）
8	第2章 循環器系	国家試験の傾向と対策（循環器－リンパ系－）
9	第3章 呼吸器系	国家試験の傾向と対策（呼吸器）
10	第4章 消化器系	国家試験の傾向と対策（消化器－消化管－）
11	第4章 消化器系	国家試験の傾向と対策（消化器－消化腺－）
12	第5・6章 泌尿生殖器系	国家試験の傾向と対策（泌尿器・生殖器）
13	第8章 神経系	国家試験の傾向と対策（神経）
14	第9章 感覚器系	国家試験の傾向と対策（感覚器）
15		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	生理学 I
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1 部
4. 対象学年・対象学期	第 1 学年 前期
5. 単位数	2 単位
6. 担当講師	武本 泰
7. 授業形式	対面授業
8. 授業の目標	人体の諸器官の機能、当該学期では、特に血液、循環、呼吸、消化・吸収の基本について習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	双方向の授業、つまり「ディスカッション」や「ディベート」に重点を置くため、自ら「調べ、考える力」を養うよう心がけてる。
11. 教科書	生理学，東洋療法学校協会，医歯薬出版
12. 副読本	人体の構造と機能，放送大学教材
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第 2 章・血液	ガイダンス、血液総論
2	第 2 章・血液	赤血球総論、赤血球の形状と数、必要成分、一生、溶血、貧血
3	第 2 章・血液	白血球、血小板、血漿の成分と働き
4	第 2 章・血液	止血のメカニズム、血液型
5	第 2 章・循環	循環総論、心臓の構造と働き、刺激伝道系
6	第 2 章・循環	心周期、心音、心電図
7	第 2 章・循環	血管系、血圧
8	第 2 章・循環	循環調節、リンパ系
9		中間試験
①	統合教育科目 I	試験結果と振り返り授業 血液概論
10	第 3 章・呼吸	呼吸総論、換気とガス交換、ガス運搬
11	第 3 章・呼吸	呼吸運動
12	第 3 章・呼吸	呼吸調節、呼吸の異常
13	第 4 章・消化と吸収	消化と吸収総論、各栄養素の消化と吸収、消化酵素
14	第 4 章・消化と吸収	消化管の運動、消化液、吸収、摂食の調節
②	統合教育科目 I	総復習 循環概論
15		期末試験
③	統合教育科目 I	試験結果と振り返り授業 循環概論

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	生理学Ⅱ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	濱津 慶子
7. 授業形式	講義と対話形式
8. 授業の目標	国家試験に合格するための基礎的な実力を身につける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	教科書を必ず持参すること。
11. 教科書	解剖生理（医歯薬出版株式会社）
12. 副読本	特になし
13. 推薦参考図書	カラー図解 人体の正常構造と機能（日本医事新報社）

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第10章 内分泌系	内分泌系の総論（種類・特徴）
2		内分泌系の各論（視床下部と下垂体 視床下部ホルモンと下垂体のホルモン）
3		甲状腺と副甲状腺
4		ランゲルハンス島
5		副腎
6		ホルモンによる体液の調節
7	第11章 生殖	女性生殖器
8		性周期 乳腺
9		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
10	第11章 生殖	男性生殖器 性の決定
11		妊娠・発生
12		胎児の発育・分娩
13	第11章 身体の変齢変化	サーカディアンリズム
14		成長と加齢 死
②	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験
③	統合教育科目Ⅰ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	生理学Ⅲ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	武本 泰
7. 授業形式	講義（対面授業）
8. 授業の目標	人体の諸器官の機能を、当該学期では、特に消化・吸収、代謝、体温、腎臓の働きの基本について習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	双方向の授業、つまり「ディスカッション」や「ディベート」に重点を置くため、自ら「調べ、考える力」を養うよう心がけてる。
11. 教科書	解剖生理学，東洋療法学校協会，医歯薬出版
12. 副読本	生理学，東洋療法学校協会，医歯薬出版
13. 推薦参考図書	人体の構造と機能，放送大学教材

14. 講義スケジュール		
回数	単元	概要
1	第8章 消化器系と代謝・栄養	A消化と吸収 1—消化器系とは、2—口腔・咽頭・食道の構造と機能
2	第8章 消化器系と代謝・栄養	A消化と吸収 3—胃の構造と機能
3	第8章 消化器系と代謝・栄養	A消化と吸収 4—小腸の構造と機能 5—大腸の構造と機能
4	第8章 消化器系と代謝・栄養	A消化と吸収 6—膵臓の構造と機能、7—肝臓と胆嚢の構造と機能
5	第8章 消化器系と代謝・栄養	A消化と吸収 9—食欲 B代謝と栄養 1—代謝とは
6	第8章 消化器系と代謝・栄養	B代謝と栄養 2—糖質、3—脂質、4—タンパク質
7	第8章 消化器系と代謝・栄養	B代謝と栄養 5—ビタミン、6—ミネラル
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
8		後期中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
9	第10章内分泌系と体温	C体温 1—体温の成り立ち、2—核心温と外殻温、3—体熱の産生と放散
10	第10章内分泌系と体温	C体温 4—温度受容器と体温調節中枢、5—体温調節反応
11	第9章泌尿器系	A泌尿器系の構造と機能 1—泌尿器系、2—腎臓の構造と機能
12	第9章泌尿器系	A泌尿器系の構造と機能 3—尿の生成、4—腎機能の測定
13	第9章泌尿器系	A泌尿器系の構造と機能 5—尿の組成、6—体液pHの調節
14	第9章泌尿器系	B排尿 1—尿管の構造と機能、2—膀胱の構造と機能、3—尿道の構造と機能、4—膀胱と尿道の神経支配、5—蓄尿、6—排尿反射
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験
④	統合教育科目Ⅰ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	病理学概論
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	行田 直人
7. 授業形式	講義（板書, 資料配布）
8. 授業の目標	教科書に沿って授業を行う。これまでに学んだ人の正常な機能・構造（生理学, 解剖学）と病理との関連性を理解する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	配布資料と教科書の予習, 復習を習慣づけること
11. 教科書	病理学概論 医師薬出版株式会社
12. 副読本	なし
13. 推薦参考図書	なし

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	1章	1章, 病理学とは
2	2章	2章, 疾病について
3	3章	3章, 病因, 疾病の一般, 内因, 外因,
4	4章	4章, 循環障害概要, うっ血, 虚血
5	4章	4章, 出血, 血栓症, 塞栓症, 梗塞, 浮腫,
6	5章	5章, 退行性病変; 萎縮
7	5章	5章, 変性, 加齢的变化, 代謝異常, 壊死とアポトーシス
8	1～5章	後期中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
9	6章	6章, 進行性変化; 肥大と増殖, 再生, 化生
10	6章	6章, 移植, 創傷治癒
11	7章	7章, 炎症の一般, 炎症の分類
12	8章	8章, 腫瘍とは, 腫瘍の一般, 良性腫瘍, 悪性腫瘍
13	9章	9章, 免疫異常, (免疫の仕組み, 免疫不全, 自己免疫異常), アレルギー
14	10章	10章, 先天異常 (先天性異常総論, 遺伝性疾患, 染色体異常)
②	統合教育科目Ⅱ	総復習
15	6～10章	後期期末試験
③	統合教育科目Ⅱ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床医学総論Ⅰ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年・前期
統合教育科目Ⅱ	2単位
6. 担当講師	飯田 あずさ
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	適切な治療を行うために、様々な診察法やその意義を理解し、また様々な症候に関わる知識を習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	配布資料や課題は無くさないように各々で管理してください。 実際に自分が診察・治療を行う立場になることを理解し、何のために必要な知識なのかを念頭において受講してください。
11. 教科書	『臨床医学総論 第2版』東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社 『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』東洋療法学校協会編 南江堂
12. 副読本	『臨床医学各論 第2版』東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社 『看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント』メディックメディア
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第1章 診察の概要 （新版東医臨 p.3-9）	診察の意義、診察の一般的心得、関連用語の理解、診察法の種類、診察の順序、記録の目的と内容
2		（Ⅰ. はじめに ～ Ⅴ. 治療の原理・原則）
3	第2章 診察の方法 （新版東医臨 p.9-17）	医療面接（病歴聴取）（Ⅵ. カルテの記載、Ⅶ. POMR）
4		視診、触診、打診、聴診、測定法、神経系の診察
5	第3章 生命徴候（バイタルサイン）の診察	体温、脈拍、血圧、呼吸
6	第4章 全身の診察	顔貌、顔色、精神状態、言語、身体計測、体型・体格
7		栄養状態、姿勢と体位、歩行
8		皮膚、粘膜、皮下組織、爪の状態、リンパ節、その他の一般的状態
9	第5章 局所の診察	頭部、顔面、眼
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
11	第5章 局所の診察	鼻、耳、口腔、頸部
12		胸部、乳房、肺・胸膜
13		心臓、腹部
14		背部、四肢
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
④	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床医学総論Ⅱ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	小野 かおり
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	適切な治療に必要な診察方法や症候に関わる知識の習得を目指す。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るには3分の2以上の出席が必要です。 プリント等の再配布はしないので、なくさないようにしてください。
11. 教科書	『臨床医学総論』東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『臨床医学各論』東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第6章 神経系の診察	感覚検査法、反射検査
2	第6章 神経系の診察	反射検査、脳神経系の検査
3	第6章 神経系の診察	脳神経系の検査、髄膜刺激症状検査、その他の検査
4	第7章 運動機能検査	運動麻痺、筋肉の異常、不随意運動
5	第7章 運動機能検査	不随意運動、協調運動、起立と歩行、関節可動域検査
6	第7章 運動機能検査	徒手筋力検査、日常生活動作、徒手による整形外科的検査法
7	第8章 その他の診察	救急時の診察、女性の診察、小児の診察、高齢者の診察
8		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
9	第9章 臨床検査法	一般検査、血液生化学検査
10	第9章 臨床検査法	血液生化学検査、生理学的検査および画像診断の概要
11	第9章 臨床検査法	生理学的検査および画像診断の概要
12	第11章 治療学	概要、薬物療法
13	第11章 治療学	食事療法、理学療法、その他の療法
14	第12章 臨床心理	患者の心理、心理学的検査・評価方法、カウンセリング、その他の療法
15		後期期末試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床医学各論Ⅰ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	手塚 清恵
7. 授業形式	配布プリント、PowerPointを使用する。
8. 授業の目標	現代医学の立場から各疾患の症状についての診察法、検査法、治療法について理解し、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力・態度を身につけることを目指す。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業前に教科書（履修する範囲）を一度読んでおくこと。 配布したプリントの再配布はしないので紛失しないこと。
11. 教科書	『臨床医学各論 第2版』 公益財団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『臨床医学総論 第2版』 公益財団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	『病気がみえる』シリーズ メディックメディア出版

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第1章 感染症	総論、細菌感染症
2	第1章 感染症	細菌感染症、ウイルス感染症
3	第1章 感染症	ウイルス感染症、性感染症
4	第2章 消化器疾患	口腔疾患、食道疾患、胃・十二指腸疾患
5	第2章 消化器疾患	胃・十二指腸疾患、腸疾患
6	第2章 消化器疾患	腸疾患、腹膜疾患
7	第3章 肝胆膵疾患	肝臓疾患
8	第3章 肝胆膵疾患	胆道疾患、膵臓疾患
9		中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
10	第4章 呼吸器疾患	感染性呼吸器疾患、閉塞性呼吸器疾患
11	第4章 呼吸器疾患	閉塞性呼吸器疾患、拘束性呼吸器疾患
12	第4章・第5章	その他の呼吸器疾患・原発性糸球体腎炎
13	第5章 腎・尿路疾患	原発性糸球体腎炎、腎不全、感染症
14	第5章 腎・尿路疾患	感染症、腫瘍性疾患、結石、前立腺疾患
②	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
③	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床医学各論Ⅱ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	手塚 清恵
7. 授業形式	講義（配布プリント、PowerPointを使用）
8. 授業の目標	現代医学の立場から各疾患の症状についての診察法、検査法、治療法について理解し、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力・態度を身につけることを目指します。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業前に教科書（履修する範囲）を一度読んでおくようにしてください。配布したプリントの再配布はしないので、なくさないようにしてください。
11. 教科書	『臨床医学各論 第2版』 公益財団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『臨床医学総論 第2版』 公益財団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	『病気がみえる』シリーズ メディックメディア出版

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第6章 内分泌疾患	下垂体疾患、甲状腺疾患
2	第6章 内分泌疾患	甲状腺疾患、副腎疾患
3	第7章 代謝・栄養疾患	糖代謝異常、脂質代謝異常
4	第7章 代謝・栄養疾患	尿酸代謝異常、その他の代謝異常症
5	第8章 整形外科疾患	総論、骨代謝性疾患・骨腫瘍
6	第8章 整形外科疾患	筋・腱疾患、形態異常
7	第8章 整形外科疾患	脊椎疾患、脊髄損傷
8		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
9	第9章 循環器障害	心臓疾患
10	第9章 循環器障害	心臓疾患
11	第9章 循環器障害	冠動脈疾患、動脈疾患
12	第9章 循環器障害	血圧異常
13	第10章 血液・造血器疾患	赤血球疾患、白血球疾患
14	第10章 血液・造血器疾患	白血球疾患、リンパ網内系疾患、出血性素因
②	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		後期期末試験
③	統合教育科目Ⅱ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床医学各論Ⅲ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	小野 かおり
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	各疾患の症状についての診察法、検査法、治療法について理解し、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力・態度を身につけることを目標とする。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	授業前に教科書を読むようにしてください。配布したプリントは再配布しません。
11. 教科書	『臨床医学各論 第2版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『臨床医学総論 第2版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第11章	脳血管障害
2		脳血管疾患、感染性疾患
3		脳・脊髄腫瘍、基底核変性疾患
4		基底核変性疾患、その他の変性疾患
5		認知症性疾患、筋疾患
6		筋疾患、運動ニューロン疾患
7		運動ニューロン疾患、末梢神経性疾患、神経痛
8		神経痛、機能性疾患
9	第12章	リウマチ性疾患、膠原病
10		膠原病
11	第13章	小児科疾患、一般外科、麻酔科
12		婦人科疾患、皮膚疾患、眼科疾患
13		耳鼻科疾患、精神科疾患、心療内科
14		復習
15		期末試験

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	リハビリテーション学Ⅰ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	後藤 陽正
7. 授業形式	座 学
8. 授業の目標	鍼灸師として各疾患に対するリハビリテーションの回復過程を理解する
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	積極的に受講すること
11. 教科書	リハビリテーション医学 第4版（東洋療法学校協会）医歯薬出版
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	リハビリテーション総説	1Aリハビリテーションと障害
2	リハビリテーション総説	1Bリハビリテーション医学と医療
3	リハビリテーション総説	1C障害の評価 ①
4	リハビリテーション総説	1C障害の評価 ②
5	リハビリテーション総説	1C障害の評価 ③
6	リハビリテーション総説	1C障害の評価 ④
7	リハビリテーション総説	1D医学的リハビリテーション ①
8	リハビリテーション総説	1D医学的リハビリテーション②
9	リハビリテーション総説	1D医学的リハビリテーション③
10		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
11	リハビリテーション総説	1D医学的リハビリテーション④
12	運動のしくみ	3A運動学の基礎
13	運動のしくみ	3B身体各部の機能①
14	運動のしくみ	3B身体各部の機能②
②	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		後期期末試験
③	統合教育科目Ⅱ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	リハビリテーション学Ⅱ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	後藤 陽正
7. 授業形式	座学
8. 授業の目標	鍼灸師としてのリハビリテーションを理解させる。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	積極的な参加を希望します。
11. 教科書	リハビリテーション医学 第4版 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第2章各疾患のリハビリテーション	A. 脳卒中のリハビリテーション1
2	第3章各疾患のリハビリテーション	A. 脳卒中のリハビリテーション2
3	第4章各疾患のリハビリテーション	A. 脳卒中のリハビリテーション3
4	第5章各疾患のリハビリテーション	B. 脊髄損傷のリハビリテーション1
5	第6章各疾患のリハビリテーション	B. 脊髄損傷のリハビリテーション2
6	第7章各疾患のリハビリテーション	C. 切断のリハビリテーション
7	第8章各疾患のリハビリテーション	D. 小児のリハビリテーション
8	第9章各疾患のリハビリテーション	E. 骨関節疾患のリハビリテーション1
9	第10章各疾患のリハビリテーション	E. 骨関節疾患のリハビリテーション2
10	第11章各疾患のリハビリテーション	F. 関節リウマチのリハビリテーション
11	第12章各疾患のリハビリテーション	G. 末梢神経障害のリハビリテーション
12	第13章各疾患のリハビリテーション	H. パーキンソン病のリハビリテーション
13	第14章各疾患のリハビリテーション	I. 呼吸器疾患のリハビリテーション
14	第15章各疾患のリハビリテーション	J. 心疾患のリハビリテーション
15		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅰ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	小野 かおり
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	集団を対象とした様々な健康課題を社会と環境との視点から理解することを目指す。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業前に教科書を読むようにしてください。 配布したプリントは再配布しません。
11. 教科書	『衛生学・公衆衛生学 第2版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第1章 衛生学の意義	衛生学・公衆衛生学とは、衛生学・公衆衛生学の歴史、衛生学・公衆衛生学の活動と意義
2	第2章 健康	健康の概要
3		健康管理
4	第13章 保健統計	保健統計の意義
5		おもな保健統計とその意義
6		主要な保健統計指標
7	第9章 成人・高齢者保健	成人・高齢者保健の意義、加齢と老化、生活習慣病の特徴と対策
8		高齢者の保健福祉対策、介護保険、難病対策の現状
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
9		中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
10	第7章 母子保健	母子保健の意義、母体の健康
11		乳幼児の健康、母体保護と家族計画、少子化問題と子育て支援
12	第5章 産業保健	産業保健の意義、労働衛生行政
13		労働環境と健康、労働災害とその対策、業務上疾病とその対策
14	第6章 精神保健	精神保健の意義、精神の保健、精神障害の現状と分類、精神障害の現状と分類
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
④	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅱ
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	菊地 裕一
7. 授業形式	講義形式
8. 授業の目標	国家試験に対応できる知識の修得。施術者として衛生環境に配慮することを意識させる。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	日々の復習を怠らないこと。国家試験の過去問にも早い段階で各自触れておくこと。配布した資料は整理して自分で使いやすいように工夫しておくこと。
11. 教科書	衛生学・公衆衛生学 第2版（医歯薬出版株式会社）
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	公衆衛生がみえる2022-2023 メディックメディア

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第3章 健康とライフスタイル	食生活と生活習慣病との関連、食品の分類、食品の安全性、食中毒について基礎的な内容を抑える。
2		
3		
4	第4章 環境と健康	日常生活において環境が自分たちの生活にどう影響しているか。公害、上下水道、有害物質について学ぶ。
5		
6		
7	第8章 学校保健	学校保健の意義や学校において予防すべき感染症について学ぶ。
8	第10章 感染症とその対策	感染症の成立、感染症の種類と現状、感染症対策の概略（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律、検疫法、予防接種法）について把握する。
9		
10		
11	第11章 消 毒	消毒の意義、消毒の種類と方法を知ることにより、病原体や対象物を考慮し、院内感染対策など目的に合わせた消毒方法の選択を把握する。
12		
13	第12章 疫 学	疾病は、疾病の発症に関わる要因、原因が解らなければ予防することは出来ない。疫学とは、疾病の要因や原因の究明を目的とした調査研究であり、調査の基本的考え方、調査対象、調査方法、調査結果の分析の概略について把握する。
14		
15		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	医療概論
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	講義、ICT機器
8. 授業の目標	我が国の医療制度、医療従事者に求められる倫理等を学ぶことを通じて、医療の概要を理解する。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るためには3分の2以上の出席が必要となる。 授業中のタブレット使用は可、スマートフォン使用は禁止です。
11. 教科書	『医療概論』 社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版 (授業で配布するプリントに従って講義を行う。)
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第2章 現代の医学と医療	・ 現代の医療制度（医療経済、医療保険、介護サービス行政等）を学ぶ。
2		・ 現代の医療制度（医療経済、医療保険、介護サービス行政等）を学ぶ。
3		・ 現代の医療制度（医療経済、医療保険、介護サービス行政等）を学ぶ。
4		・ 現代の医療制度（医療経済、医療保険、介護サービス行政等）を学ぶ。
5	第3章 医療従事者の倫理	・ 医療倫理を学ぶ。
6		・ 医療倫理を学ぶ。
7		・ 医療倫理を学ぶ。
8		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	関係法規
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	講義、ICT機器
8. 授業の目標	あはき師等に関する法令および医療に係る各種の関係法規について理解する。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るためには3分の2以上の出席が必要となる。 授業中のタブレット使用は可、スマートフォン使用は禁止です。
11. 教科書	『関係法規 第7版』 社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版 (授業で配布するプリントに従って講義を行う。)
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	序論 法とは何か 第1章 あはき師等に関する法律	・法の意義、体系を学ぶ。あはき法（法制定の目的、免許等）を学ぶ。
2	第1章 あはき師等に関する 法律	・あはき法（免許、申請等）を学ぶ。
3		・あはき法（業務、届出、設備基準等）を学ぶ。
4		・あはき法（名称制限、広告制限、罰則等）を学ぶ。
5	第2章 関係法規	・医療に係る各種の関係法規（医事法規等）を学ぶ。
6		・医療に係る各種の関係法規（薬事法規、衛生関係法規等）を学ぶ。
7		・医療に係る各種の関係法規（社会福祉関係法規、社会保険関係法規等）を学ぶ。
8		期末試験

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	社会保障制度及び職業倫理
2. 科目分類	専門基礎分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	講義、ICT機器
8. 授業の目標	我が国の社会保障制度、医療従事者に求められる職業倫理等を学ぶことを通じて、これらと関連するはり師、きゅう師の役割について理解する。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るためには3分の2以上の出席が必要となる。
11. 教科書	『医療概論』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社 『関係法規 第7版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		社会保障制度の概要
2		社会保障制度の概要
3		医療保険制度の概要
4		あはき療養費の受領委任制度の概要
5		医療従事者の倫理の概要
6		医療従事者の倫理の概要
7		後期期末試験
8		関連分野の問題演習
9		関連分野の問題演習
10		関連分野の問題演習
11		関連分野の問題演習
12		関連分野の問題演習
13		関連分野の問題演習
14		関連分野の問題演習
15		関連分野の問題演習

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	はりきゅう理論Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等4年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	菊地 裕一
7. 授業形式	プリント・教科書を教材として、PCでPowerPointをプロジェクターで白板に写して授業を行います。
8. 授業の目標	鍼灸治療の効果を考える上で、知っておかなければならない生理学の知識と治療効果との関係性を理解する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	体調を整えて、授業中寝ない。わからないところは、そのままにしておかない。Ipadで調べものする場合は、授業に関係のあるものに限る。
11. 教科書	『はりきゅう理論 第3版』教科書執筆小委員会著 医道の日本社 『解剖生理』第1版 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ』矢野 忠編集主幹 文光堂
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		感覚について（種類と分類・体性感覚）
2		痛みと鍼灸の関係性について
3		触圧覚・温覚と鍼灸の関係性について
4		生体防御機構について（免疫・炎症について）
5		熱傷とお灸について
6		鍼灸治療に関わる体表の反応について
7		鍼鎮痛の概論。内因性オピオイド。
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
8		後期中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
9		全身性鎮痛（SIA。下行性痛覚抑制系）
10		全身性鎮痛（DNIC）。脊髄分節性鎮痛。末梢性鎮痛。鎮痛の個人差。
11		循環系と鍼（軸索反射。一酸化窒素。筋循環と鍼。心拍数および血圧と鍼）
12		運動器系と鍼。消化器系と鍼
13		泌尿器系と鍼。リラクセーションと鍼灸
14		生体防御系（免疫）と鍼灸
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験
④	統合教育科目Ⅰ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	はりきゅう理論Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	石丸 幸宏
7. 授業形式	講義・グループワーク・問題演習
8. 授業の目標	鍼や灸の効果機序を理解し臨床に生かすことと、道具の種類や術式の基本を理解し、国家試験で必要な知識を見つけることを目標とする。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	授業中に実施した問題や、模試の問題を見直しすること。
11. 教科書	『はりきゅう理論 第3版』 教科書執筆小委員会著 医道の日本社
12. 副読本	『生理学』 公益社団法人東洋療法学校協会 医歯薬出版 『図解鍼灸臨床手技マニュアル』 尾崎昭弘著 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	『鍼灸臨床最新科学 メカニズムとエビデンス』 矢野 忠・川喜田 健司編 医歯薬出版株式会社

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		循環系と鍼（軸索反射。一酸化窒素。筋循環と鍼。心拍数および血圧と鍼）
2		運動器系と鍼。消化器系と鍼
3		泌尿器系と鍼。リラクゼーションと鍼灸
4		生体防御系（免疫）と鍼灸
5		感覚総論（種類による受容器・神経線維・伝導路の違い）
6		感覚各論
7		熱傷・炎症について
8		体表の反応について
9		鍼鎮痛について
10		鍼灸の術式や道具について(古代九鍼など)
11		鍼灸の術式や道具について(古代九鍼など)
12		鍼灸の術式や道具それぞれが与える体性感覚刺激について
13		リスク管理
14		自律神経について
15		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	経絡経穴概論Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等4年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	菊地 裕一
7. 授業形式	講義形式
8. 授業の目標	経絡・経穴とは何かを理解する。取穴時に使用する解剖学用語に慣れる。各要穴を覚える。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	今まで皆さんが習ってきたものにはないような言葉や漢字が頻出しますので、わからない漢字には必ずふりがなを記載してください。
11. 教科書	『新版 経絡経穴概論 第2版』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
12. 副読本	『解剖学 第2版』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『新版 東洋医学概論』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『針灸学[経穴篇]』天津中医药大学、学校法人後藤学園（編）東洋学術出版社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第1章経絡・経穴の基礎	経絡経穴概論とはどんな教科か。経絡、経穴とは何か。
2		陰陽と五行の概要。3. 経絡の概要 1) 経絡について 2) 正経十二経脈の流注
3		3) 奇経八脈について 4) 経別について 5) 絡脈について
4		6) 経筋、皮部について
5		4. 経穴の概要 1) 腧穴について 2) 経穴について 3) 経穴部位の決定方式
6	第2章経脈・経穴	1. 解剖学的肢位と方向に関する用語
7		骨度法 体表指標について
8	第1章経絡・経穴の基礎	5) 要穴の概略 (1) 五要穴
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
9		中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
10	第1章経絡・経穴の基礎	(2) 五腧穴・五行穴
11		(3) 四総穴 (4) 八会穴
12		(5) 八脈交会穴 (6) 交会穴 (7) 下合穴 6) 禁鍼穴・禁灸穴
13	第2章経脈・経穴	奇形八脈を構成する経穴
14	第3章経絡・経穴の現代的研究	1. 経絡現象 2. 経穴の概念と現代科学的研究
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		期末試験
④	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	経絡経穴概論Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	石丸 幸宏
7. 授業形式	講義・グループワーク・問題演習
8. 授業の目標	東洋医学の言葉に慣れ親しむ。経絡の役割や流注について理解し、実際に身体を走行する経絡のイメージができるようにする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	教科書や資料の他に必要なものがあればその都度伝えますので、忘れないようにしてください。分からない言葉などあれば、授業外でも積極的に質問してください。
11. 教科書	『新版 経絡経穴概論 第2版』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『新版 東洋医学概論』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	『針灸学〔経穴編〕』天津中医薬大学・学校法人後藤学園 編 東洋学術出版社 『全訳 経絡学』李鼎著 浅野周訳 たにぐち書店

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		授業ガイダンス
2	東洋医学概論 p 13-21、38-72	東洋医学の概要
3	東洋医学概論P74-127	臓腑の概要
4		臓腑の概要
5	東洋医学概論 p 150-157 経絡経穴概論 p 2-7	経絡の種類・十二経脈の流注について
6	経絡経穴教科書P52、60	経脈の走行と異常について（手の太陰肺経・手の陽明大腸経）
7	経絡経穴教科書P72、92	経脈の走行と異常について（足の陽明胃経・足の太陰脾経）
8	経絡経穴教科書P104、110	経脈の走行と異常について（手の少陰心経・手の太陽小腸経）
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
9		中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
10	経絡経穴教科書P120、150	経脈の走行と異常について（足の太陽膀胱経・足の少陰腎経）
11	経絡経穴教科書P164、170	経脈の走行と異常について（手の厥陰心包経・手少陽三焦経）
12	経絡経穴教科書P182、202	経脈の走行と異常について（足の少陽三焦経・足の厥陰肝経）
13	経絡経穴教科書P26、40、212-213 東洋医学概論 p 154-155	奇経八脈の走行と異常について（任脈・督脈・衝脈・帯脈）
14		奇経八脈の走行と異常について（陰蹻脈・陽蹻脈・陰維脈・陽維脈）
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
④	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	東洋医学概論Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等17年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	千木良 美歩
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	東洋医学独自の概念を知り、東洋医学的な考え方を理解することを目標とする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	3分の2以上の出席で受験資格を得る。また、授業内の課題の提出状況も成績評価に反映する。
11. 教科書	『東洋医学概論』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
12. 副読本	『東洋医学臨床論〈はりきゅう篇〉』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
13. 推薦参考図書	『針灸学[基礎篇]』 『針灸学[臨床篇]』 日中共同編集 東洋学術出版社

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第3章 東洋医学の思想	第2節五行学説
2	第2章 生理と病理	第1節 生理物質と神 精
3		第1節 生理物質と神 気
4		第1節 生理物質と神 気
5		第1節 生理物質と神 血
6		第1節 生理物質と神 津液
7		第1節 生理物質と神 生理物質の相互関係
8		第1節 生理物質と神 神
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
9		後期中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
10		第1節 生理物質と神 人体における陰陽
11		第2節 蔵象 臓腑 肝
12		第2節 蔵象 肝 心
13		第2節 蔵象 脾 肺
14		第2節 蔵象 肺 腎
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
④	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験
⑤	統合教育科目Ⅰ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	東洋医学概論Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	石丸 幸宏
7. 授業形式	講義・グループワーク・問題演習
8. 授業の目標	臓腑の病証を理解し、患者の症状からどの臓腑が原因となるかを把握できるようになる。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	東洋医学は「漢字」の文化圏である中国から伝来している。故に、漢字の意味を調べることで理解が深まります。漢字をしべて見て下さい。
11. 教科書	『新版 東洋医学概論』
12. 副読本	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』『鍼灸技術ガイドⅠ』
13. 推薦参考図書	『中医学の仕組みがわかる基礎講義』兵頭明著 医道の日本社

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第2章2節蔵象	膀胱の生理作用・特性。腎と膀胱の相互関係。三焦の生理作用（p115～127）
2	第2章2節蔵象	五臓の相互関係（P127～149）
3	第2章4節病因病機	病因（外感病因）について（p161～167）
4	第2章4節病因病機	病因（内傷病因・その他）、病機、三毒説について（p168～173）
5	第2章2節蔵象	弁証について（p270～281）
6	第2章2節蔵象	肝・胆の病証（p77～87、276）
7	第2章2節蔵象	心・小腸の病証（p87～97、276～277）
8	第2章2節蔵象	脾・胃の病証（p97～106、277～278）
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
9		中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
10	第2章2節蔵象	肺・大腸の病証（p106～115、278）
11	第2章2節蔵象	腎・膀胱の病証（p115～125、278～279）
12	第2章2節蔵象	臓腑の相互からくる病証（P127～149）
13	第2章2節蔵象	臓腑の相互からくる病証（P127～149）
14	第2章3節経絡	経絡（p150～157）
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
④	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	東洋医学概論Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等17年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	千木良美歩
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	東洋医学独自の概念を知り、東洋医学的な考え方を理解することを目標とする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	3分の2以上の出席で受験資格を得る。また、授業内の課題の提出状況や授業態度も成績評価に反映する。
11. 教科書	『東洋医学概論』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
12. 副読本	『新版東洋医学臨床論（はりきゅう編）』 南江堂
13. 推薦参考図書	『針灸学[基礎篇]』 『針灸学[臨床篇]』 日中共同編集 東洋学術出版社

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第2章	肺・大腸の病証
2	第2章	肺・大腸の病証
3	第2章	腎・膀胱の病証
4	第2章	腎・膀胱の病証
5	第2章	臓腑の相互からくる病証
6	第2章	臓腑の相互からくる病証
7	第2章	経脈病証
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
8		後期中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
9	第2章	経脈病証
10	第2章	経脈病証
11	第2章	経脈病証
12	第2章	経脈病証
13	第2章	伝変と波及
14	第2章	弁証について
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		後期期末試験
④	統合教育科目Ⅱ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	生体観察 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等3年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	飯田 あずさ
7. 授業形式	ICTと配布プリントでの講義（教室）、演習形式（実技室）
8. 授業の目標	今まで学んだ運動器の知識を中心に、人体を立体構造的に理解する。 国家試験や臨床に必要な知識を触察しながら身につけ、他科目との繋がりを確認する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	演習の授業ではKCや短パン等を使用する。内容や必要なものについて授業内やteamsでアナウンスするのでよく確認すること。
11. 教科書	『解剖学 第2版』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『ネッター解剖学アトラス 第4版』F.H.Netter 著 相磯 貞和 訳 南江堂
13. 推薦参考図書	『運動療法のための機能解剖学的触診技術』林 典雄 著 メジカルビュー社 『改訂版 ボディ・ナビゲーション』Andrew Biel 著 医道の日本社 その他 適宜授業内で紹介します。

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第10章 運動器系	ガイダンス／運動器および関連する知識の復習（上肢帯・上肢）
2	〃	運動器および関連する知識の復習（上肢帯・上肢）
3	〃	骨・筋の触察（上肢）（演習形式）
4	〃	運動器および関連する知識の復習（下肢帯・下肢）
5	〃	骨・筋の触察（下肢）（演習形式）
6	〃	運動器および関連する知識の復習（体幹）
7	〃	骨・筋の触察（体幹）（演習形式）
8	〃	運動器および関連する知識の復習（頭頸部）
9		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
10	〃	骨・筋の触察（頭頸部）（演習形式）
11	第10章 運動器系	複数の運動器系で構成される構造物（〇〇三角、〇〇窩）
12	〃	複数の運動器系で構成される構造物の触察（演習形式）
13	第10章 運動器系 第2～6章（内臓器系）	臓器の位置と体表への投影
14	第10章 運動器系	体表から触知できる血管（前半 講義形式／後半 演習形式）
②	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		後期期末試験
③	統合教育科目Ⅱ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	はりきゅう適応判断 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等21年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	手塚 清恵
7. 授業形式	講義・問題演習
8. 授業の目標	現代医学の立場から各疾患の症状・診察法・検査法・治療法を理解する。 現代医学・東洋医学の知識を統合して鍼灸施術を適切に行う能力を身につける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	授業で解いた問題を宿題で課します。必ず復習してください。
11. 教科書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（公社）東洋療法学校協会編 南江堂 『新版 経絡経穴概論 第2版』（公社）東洋療法学校協会編 医道の日本社 『臨床医学総論 第2版』（公社）東洋療法学校協会編 医歯薬出版 『臨床医学各論 第2版』（公社）東洋療法学校協会編 医歯薬出版
12. 副読本	『図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ』矢野忠編集 文光堂
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	運動器疾患	絞扼神経障害
2	運動器疾患	絞扼神経障害
3	運動器疾患	頸肩部・肩甲上肢の疾患
4	運動器疾患	頸肩部・肩甲上肢の疾患
5	運動器疾患	上肢の疾患
6	運動器疾患	上肢の疾患
7	運動器疾患	腰部・腰下肢の疾患
8	運動器疾患	腰部・腰下肢の疾患
9	運動器疾患	下肢の疾患
10	運動器疾患	下肢の疾患
11	運動器疾患	その他の疾患
12	運動器疾患	その他の疾患
13	運動器疾患	その他の疾患
14	運動器疾患	その他の疾患
15		期末試験

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	病態生理学 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等7年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	小野 かおり
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	各疾患の症状についての診察法・検査法・治療法を理解し、東洋医学的知識と統合して鍼灸施術を適切に行う能力・態度を身につける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	授業内で不明だった問題については、必ず教科書・プリント等で確認すること。
11. 教科書	『臨床医学各論』社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『臨床医学総論』社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	『病気が見えるシリーズ』メディックメディア出版

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		問題演習とまとめ
2		問題演習とまとめ
3		問題演習とまとめ
4		問題演習とまとめ
5		問題演習とまとめ
6		問題演習とまとめ
7		問題演習とまとめ
8		後期期末試験
9		問題演習とまとめ
10		問題演習とまとめ
11		問題演習とまとめ
12		問題演習とまとめ
13		問題演習とまとめ
14		問題演習とまとめ
15		問題演習とまとめ

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	東洋医学臨床Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等24年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	篠原 勝
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	症状から、診断（病名）と治療を考える力をつける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	覚える事が多い様に見えますが、理解すること、感覚でわかる事に注視して下さい。宿題は教科書やネットを駆使して解答して下さい。宿題の目的は自分で調べる。復習するという事です。
11. 教科書	新版『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』公益社団法人 東洋療法学校協会編 南江堂
12. 副読本	『新版 東洋医学概論』公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第2章各論第1節疼痛	西洋医学に基づく病態把握Ⅰ. 疼痛概説、Ⅱ. 頭痛
2		西洋医学に基づく病態把握Ⅲ. 顔面痛、Ⅳ. 関節痛
3		西洋医学に基づく病態把握Ⅴ. 頰肩腕痛、Ⅵ. 上肢痛
4		西洋医学に基づく病態把握Ⅶ. 肩関節痛、Ⅷ. 腰下肢痛
5	第2節臓腑と関連する症候	西洋医学に基づく病態把握Ⅸ. 腰痛、Ⅹ. 下肢痛
6		西洋医学に基づく病態把握Ⅺ. 膝痛、Ⅻ. 胸痛
7		西洋医学に基づく病態把握ⅩⅢ. 腹痛、2-1肝系統Ⅰ. 眼精疲労
8		西洋医学に基づく病態把握Ⅱ. 気分障害（うつ状態）、Ⅲ. めまい
9		東洋医学的な疾患の考え方。症状の見方の基礎
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
11		東洋医学に基づく病態把握Ⅰ. 疼痛概説～Ⅳ. 関節痛
12		東洋医学に基づく病態把握Ⅴ. 肩関節痛～Ⅷ. 腰下肢痛
13		東洋医学に基づく病態把握Ⅸ. 腰痛～Ⅻ. 胸痛
14		東洋医学に基づく病態把握ⅩⅢ. 腹痛～2-1肝系統Ⅲ. めまい
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
④	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	東洋医学臨床Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等24年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	篠原 勝
7. 授業形式	講 義
8. 授業の目標	西洋医学・東洋医学ともに診断力、治療方法の理解力を高める。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業に関連して宿題を出すので必ず提出すること。
11. 教科書	南江堂 新版東洋医学臨床論（はりきゅう編）
12. 副読本	医道の日本社 新版東洋医学概論
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第2章 各 論	第2節臓腑と関連する症候2－2心系統Ⅰ 動悸・息切れ～Ⅲ睡眠障害の西洋医学に基づく病態把握と治療
2		2－3脾系統Ⅰ食欲不振～Ⅲやせ（るい瘦）の西洋医学に基づく病態把握と治療
3		2－3脾系統Ⅳ悪心・嘔吐～Ⅵ下痢の西洋医学李基づく病態把握と治療
4		3脾系統Ⅶ歯痛～4肺系統Ⅱ呼吸困難の西洋医学李基づく病態把握と治療
5		4肺系統Ⅲ鼻閉・鼻汁～5腎系統Ⅱ耳鳴り・難聴の西洋医学李基づく病態把握と治療
6	第3節 全身の症候	5腎系統Ⅲ排尿障害～第3節全身の症候Ⅰ疲労と倦怠の西洋医学李基づく病態把握と治療
7		Ⅱ発熱～Ⅳのぼせの西洋医学李基づく病態把握と治療
8		Ⅴ浮腫～Ⅵ掻痒感（痒み）・肌荒れ・発疹の西洋医学李基づく病態把握と治療
9		内熱・内火（心火亢盛、痰火擾心）による心悸、陰虚陽亢（肝陽上亢）による高血圧、痰熱（食滯胃脘、胃熱）による不眠、中間前復習
10		後期中間試験
①	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
11		食滯胃脘による食欲不振、胃陰虚による食欲不振、肝胃不和による悪心・嘔吐、熱秘・気秘・虚秘・冷秘による便秘、肝火犯肺による咳嗽、腎不納気による喘、血熱下燥による脱毛、
12		東洋医学的考え方のグループセッション（243CD, 249D, 254B）
13		膀胱湿熱による小便頻数、癰閉、命門火衰による陽萎、大腸湿熱による発熱、冷え、血熱による掻痒感
14		東洋医学的考え方のグループセッション（330B, 342(3), 358C, 367(4)）
②	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		後期期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	東洋医学臨床Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等13年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	講義、ICT機器
8. 授業の目標	東洋医学的な診察法（四診法）を理解するとともに、診察所見から東洋医学的な病態を推測するための基礎的な知識を習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るためには3分の2以上の出席が必要となる。 授業中のタブレット使用は可、スマートフォン使用は禁止です。
11. 教科書	『新版 東洋医学概論』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
12. 副読本	『鍼灸学（基礎篇）』 日中共同編集 東洋学術出版社 『図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ』 矢野忠（編） 文光堂
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第4章 四診	・ 四診の概要、望診を学ぶ。
2		・ 望診（主に舌診）を学ぶ。
3		・ 望診（主に舌診）を学ぶ。
4		・ 望診（主に舌診）、聞診を学ぶ。
5		・ 東洋医学的な問診（主訴、基本的問診事項）を学ぶ。
6		・ 東洋医学的な問診（基本的問診事項）を学ぶ。
7		・ 東洋医学的な問診（基本的問診事項）を学ぶ。
8		・ 東洋医学的な問診（その他の問診事項等）を学ぶ。
9		・ 東洋医学的な問診（その他の問診事項等）を学ぶ。
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
11	第4章 四診	・ 東洋医学的な問診（その他の問診事項等）を学ぶ。
12		・ 切診（反応、腹診、切経、脈診等）を学ぶ。
13		・ 切診（主に脈診）を学ぶ。
14		・ 切診（主に脈診）を学ぶ。
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
④	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	東洋医学臨床Ⅳ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等3年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	飯田 あずさ
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	各症候について、西洋医学・東洋医学ともにその病態と診断法・治療法を理解する。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	情報の暗記をするだけでなく、各症候の病態生理を今まで学んだ知識を生かして理解すること。分からないことは振り返り、各論や東概との繋がりを常に意識すること。
11. 教科書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』東洋療法学校協会編 南江堂
12. 副読本	『新版 東洋医学概論』東洋療法学校協会編 医道の日本社 『臨床医学各論 第2版』東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第2章 第4節 P. 405～	その他の症候 東洋医学的な考え方
2	第5節 P. 439～	女性特有の症候 東洋医学的な考え方
3		グループワーク 症候分析と問題作成
4	第6節 P. 501～	小児特有の症候 東洋医学的な考え方
5	第7節 P. 529～	老年特有の症候 東洋医学的な考え方
6		グループワーク 症候分析と問題作成
7	第2章 第4節 P. 405～	その他の症候 西洋医学的な考え方
8		〃
9	第5節 P. 439～	女性特有の症候 西洋医学的な考え方
10		〃
11	第6節 P. 501～	小児特有の症候 西洋医学的な考え方
12		〃
13	第7節 P. 529～	老年特有の症候 西洋医学的な考え方
14		〃
15		期末試験

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	東洋医学臨床応用 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等17年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	千木良 美歩
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	国家試験に対応する東洋医学的知識の確認と問題を理解でき、答えに導ける応用力を身につけることを目標とする。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	3分の2以上の出席で受験資格を得る。事前課題などを実施の上授業に臨むようにする。
11. 教科書	『東洋医学概論』社団法人 東洋療法学校協会篇 医道の日本社 『新版東洋医学臨床論（はりきゅう編）』南江堂
12. 副読本	『経絡経穴概論』社団法人 東洋療法学校協会篇 医道の日本社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	国家試験対策	問題練習と復習
2		問題練習と復習
3		問題練習と復習
4		問題練習と復習
5		問題練習と復習
6		問題練習と復習
7		問題練習と復習
8		後期期末試験
9		問題練習と復習
10		問題練習と復習
11		問題練習と復習
12		問題練習と復習
13		問題練習と復習
14		問題練習と復習
15		問題練習と復習

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	社会鍼灸学 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	2単位
6. 担当講師	益子 勝良
7. 授業形式	講義、問題演習
8. 授業の目標	地域における鍼灸師の立場・役割を理解し、それに必要な知識を身につける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	常に必要な教科書を準備し、問題に対し真摯に取り組む。また、期日までにしっかりと課題を行っていく。
11. 教科書	『社会あはき学』・『臨床医学総論』・『臨床医学各論』 医歯薬出版
12. 副読本	プリント
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	あはき師を取り巻く環境	医療制度と現状
2	地域で期待されるあはき師の業務	施術所におけるあはき治療
3	地域で期待されるあはき師の業務	在宅医療における愁訴鑑別
4	地域で期待されるあはき師の業務	在宅医療における愁訴鑑別
5	現在社会におけるあはき師の役割	感染症についての解説・問題演習
6	現在社会におけるあはき師の役割	消化器疾患についての解説・問題演習
7	現在社会におけるあはき師の役割	肝胆膵疾患についての解説・問題演習
8	現在社会におけるあはき師の役割	肝胆膵疾患についての解説・問題演習
9	現在社会におけるあはき師の役割	呼吸器疾患についての解説・問題演習
10	現在社会におけるあはき師の役割	呼吸器疾患についての解説・問題演習
11	現在社会におけるあはき師の役割	腎尿路疾患についての解説・問題演習
12	現在社会におけるあはき師の役割	内分泌疾患についての解説・問題演習
13	現在社会におけるあはき師の役割	内分泌疾患についての解説・問題演習
14	現在社会におけるあはき師の役割	整形外科疾患についての解説・問題演習
15		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	基礎実技Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等21年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	手塚 清恵
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	鍼治療の基本的な知識を学び、体の様々な部位に安全に目的の深さや角度で刺鍼できる技術を身につける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	清潔なKCを着用し、身だしなみを整える。準備や後片付けをしっかりと行う。
11. 教科書	『はりきゅう理論』社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『図解鍼灸臨床手技マニュアル第2版』尾崎昭弘著 医歯薬出版（株）
12. 副読本	『新版 経絡経穴概論』社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『図解鍼灸療法技術ガイドⅠ』矢野忠編集主幹 文光堂
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		イントロダクション
2	第1章、第2章、第7章2.	はりきゅう理論p1～8、p34～35
3	第3章	はりきゅう理論p9～14、片手挿管
4	第4章	はりきゅう理論p15～20、片手挿管
5	第3章	片手挿管、刺鍼手技の確認
6	第3章	はりきゅう理論p9～14、片手挿管、刺鍼練習
7	第3章	はりきゅう理論p9～14、片手挿管、刺鍼練習
8	第7章1. 2.	はりきゅう理論p29～38、片手挿管、刺鍼練習
9	第7章3.	はりきゅう理論p39～43、片手挿管、刺鍼練習
10		片手挿管、刺鍼練習、刺鍼手技の確認
11		中間試験
12		片手挿管、刺鍼練習（自分への施術）、手技Mp161～p182（下腿部）
13		片手挿管、刺鍼練習（自分への施術）、手技Mp161～p182（大腿部）
14		片手挿管、刺鍼練習（対人施術）、手技Mp161～p182（下腿部）
15		片手挿管、刺鍼練習（対人施術）、手技Mp161～p182（大腿部）
16		片手挿管、刺鍼練習（対人施術）、手技Mp161～p191（大腿部／下腿部）
17		まとめ
18		まとめ
19		期末試験
20		試験の振り返り

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	基礎実技Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等20年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	岩澤 勉
7. 授業形式	講義、実技
8. 授業の目標	お灸についての基礎知識と技能の修得
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	KCまたは着替えや実技道具・タブレット・筆記用具等を忘れないください。
11. 教科書	配布資料
12. 副読本	はりきゅう理論
13. 推薦参考図書	鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	お灸の基礎	実技における必要な準備の説明、お灸の歴史や精製について学ぶ。
2	お灸体験	灸の材料、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
3	お灸の基礎	艾の精製による分類、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
4	お灸の基礎	線香、灸術の種類、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
5	お灸の基礎	線香、灸術の種類、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
6	お灸の基礎	熱の移動様式、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
7	お灸の基礎	灸施術の禁忌、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
8	お灸の基礎	灸施術の禁忌、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
9	お灸の基礎	灸施術の有害事象、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
10	中間試験	中間試験 配布資料内から筆記試験を実施
11	お灸の基礎	灸施術の有害事象、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
12	お灸の基礎	体性感覚刺激の分類、お灸のひねり方について学ぶ。温筒灸・台座灸の体験。
13	お灸の基礎	感覚神経、お灸のひねり方について学ぶ。
14	お灸の基礎	脊髄伝導路、お灸のひねり方・八分灸について学ぶ。
15	お灸の基礎	温度覚、お灸のひねり方・八分灸について学ぶ。棒灸の体験
16	お灸の基礎	熱傷と灸、お灸のひねり方・八分灸について学ぶ。棒灸の体験
17	お灸の基礎	お灸のひねり方、テスト対策
18	期末試験	期末試験 実技試験（1分間に10仕を2回）
19	お灸の基礎	自分の身体への
20	お灸の基礎	自分への施灸

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	基礎実技Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等21年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	手塚 清恵
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	鍼治療の基本的な知識を学び、体の様々な部位に安全に目的の深さや角度で刺鍼できる技術を身につける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	清潔なKCを着用し、身だしなみを整える。準備や後片付けをしっかりと行う。
11. 教科書	『はりきゅう理論』社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『図解鍼灸臨床手技マニュアル第2版』尾崎昭弘著 医歯薬出版（株）
12. 副読本	『新版 経絡経穴概論』社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『図解鍼灸療法技術ガイドⅠ』矢野忠編集主幹 文光堂
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		施術上の一般注意事項、有害事象と対処法、など
2		対人施鍼：下肢への刺鍼（三陰交、足三里）
3		対人施鍼：下肢への刺鍼（公孫、陽陵泉）
4		対人刺鍼：上肢への刺鍼（合谷、曲池）
5		対人刺鍼：上肢への刺鍼（尺沢、天府）
6		対人刺鍼：腰部への刺鍼（大腸兪、志室）
7		対人刺鍼：腰部への刺鍼（腎兪、脾兪）
8		対人刺鍼：仙骨部、下肢への刺鍼（次髎、委中）
9		対人刺鍼：仙骨部、下肢への刺鍼（胞肓、殷門）
10		後期中間試験
11		対人刺鍼：腹部への刺鍼（中脘、天枢）
12		対人刺鍼：腹部への刺鍼（関元、大巨）
13		対人刺鍼：胸部への刺鍼（膻中／紫宮、中府／雲門）
14		対人刺鍼：上背部、肩部への刺鍼（肩井、肺兪）
15		対人刺鍼：上背部、肩部への刺鍼（天宗、秉風）
16		対人刺鍼：頸部、上背部への刺鍼（風池、肩外兪／附分）
17		対人刺鍼：頭部への刺鍼（百会、神庭／頭維）
18		試験練習
19		後期期末試験
20		後期期末試験の振り返り

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	基礎実技Ⅳ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等20年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	岩澤 勉
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	対人施灸の基礎を学ぶ
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	タブレット、スマートフォン等は教員の支持または許可を得てから使用する。KC, お灸道具の忘れ物がないようにして下さい。
11. 教科書	経絡経穴概論、授業資料
12. 副読本	鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	人体への施灸	棒灸 お灸の作用について。
2	対人施灸	隔物灸（生姜灸、大蒜灸）お灸の作用について。
3	対人施灸	対人施灸の手順、下肢への施灸。八分灸
4	対人施灸	下肢への施灸。八分灸
5	対人施灸	膝前面への施灸。お灸の作用について
6	対人施灸	膝後面への施灸。お灸の作用について
7	対人施灸	腰背部への施灸。お灸の作用について
8		後期中間試験
9	対人施灸	腰背部への施灸。
10	対人施灸	腰背部への施灸。
11	対人施灸	腹部への施灸。
12	対人施灸	肩関節前面への施灸。
13	対人施灸	肩関節後面への施灸。
14	対人施灸	頭部・顔面部への施灸。
15	対人施灸	対人施灸。八分灸
16	対人施灸	対人施灸。八分灸
17	実技試験	後期期末試験
18	対人施灸	対人施灸。八分灸
19	対人施灸	灸頭鍼
20	対人施灸	灸頭鍼

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	応用実技Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等24年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	篠原 勝
7. 授業形式	実 技
8. 授業の目標	鍼灸をすると体にどんな変化をもたらすかを考える癖をつける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	前期は解剖学的視点が重要なのであらかじめその場所をよく復讐すること。
11. 教科書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』公益社団法人 東洋療法学校協会編 南江堂
12. 副読本	『解剖学 第2版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		ツボを探るのに必要な目安となる部位を触る。肩峰、肩甲骨内上角、肩甲棘内縁、肩甲骨下角、第12浮肋骨先端、腸骨稜、上後腸骨棘
2		頭痛に対する治療（天柱・風池・完骨）
3		頸肩腕痛（頸椎症）に対する治療（C2～7棘突起、横突起）
4		頸肩腕痛（胸郭出口症候群）に対する治療（鎖骨下部、烏口突起）
5		上肢痛に対する治療（前腕部外側）パルスを使用
6		肩関節痛に対する治療（肩髃・肩髃・結節間溝）
7		腰痛・腰下肢痛に対する治療（腎俞、志室、大腸俞）
8		下肢痛（シンスプリント、腓骨頭周囲、ハンター管症候群）に対する治療
9		膝痛に対する治療（内膝眼、血海、梁丘）
10		中間試験予行練習
11		中間試験
12		中間試験解説
13		胸痛に対する治療（脊柱点、側胸点、胸骨点）
14		腹痛に対する治療（腹診と腹部散鍼）
15		眼精疲労に対する治療（瞳子膠（太陽）、攢竹、四白）
16		めまいに対する治療（翳風、耳門、聴宮、聴会）
17		期末試験予行練習
18		期末試験
19		期末試験解説
20		治療に関する考え方。

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	応用実技Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	益子 勝良
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	身体診察、テスト法を理解し、実施できる。また、疾病の成り立ちについて理解し、適切な身体診察、テスト法、治療法を行える。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	指示以外のことは実施しない。
11. 教科書	『フィジカルアセスメントがみえる』メディックメディア 『鍼灸療法技術ガイド』文光堂
12. 副読本	プリント
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	医療面接	医療面接とは
2	医療面接	医療面接の実際
3	身体診察法	バイタルサイン
4	身体診察法	バイタルサイン、血圧測定
5	身体診察法	神経の伝導路、神経診察法（表在感覚、深部感覚）
6	身体診察法	神経系診察法（複合感覚、反射検査、自律神経反射）
7	身体診察法	神経系診察法（病的反射、脳神経系の診察法）
8	身体診察法	神経系診察法（病的反射、脳神経系の診察法）
9		中間試験
10	身体診察法	神経系診察法（髄膜刺激症状検査、協調運動、ROM、MMT）
11	身体診察法	神経系診察法（髄膜刺激症状検査、協調運動、ROM、MMT）
12	徒手検査法	肩関節の徒手検査法
13	肩関節疾患	五十肩の病態把握・診断方法
14	肩関節疾患	五十肩の治療法
15	肩関節疾患	野球肩の病態把握・診断方法
16	肩関節疾患	野球肩の治療法
17	徒手検査法	肘部・手関節の徒手検査法
18		期末試験
19	肘部・手関節疾患	内・外側上顆炎、変形性肘関節症、野球肘、手指の変形性関節症の病態把握・診断方法
20	肘部・手関節疾患	内・外側上顆炎の治療法

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	応用実技Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等24年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	篠原 勝
7. 授業形式	実 技
8. 授業の目標	治療ポイントを覚えるのではなく、身体の変化に対して考えるようにする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	治療に対する自分なりの考えを持つこと。
11. 教科書	
12. 副読本	東洋医学臨床論、経絡経穴概論
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		血圧異常に対する治療法（風池・膏肓・肩井）
2		睡眠障害に対する治療法（合谷・内関・足三里・三陰交）
3		食欲不振に対する治療法（T7～T11、膈兪、肝兪、脾兪）
4		便秘に対する治療法（S2～S4）
5		歯痛に対する治療法（下関、大迎、頰車）
6		のどの痛みに対する治療法（喉頭隆起周囲）
7		脱毛に対する治療法（頭部の刺針）
8		耳鳴り・難聴に対する治療法（翳風、聴会のパルス）
9		中間テスト前振り返り
10		後期中間試験
11		疲労と倦怠に対する治療法（大椎、肺兪、心兪）
12		冷えに対する治療法（三陰交、行間パルス）
13		浮腫に対する治療法（豊隆、三陰交、太衝）
14		顔面麻痺に対する治療法（オトガイ地倉、魚腰一四白のパルス）
15		月経異常に対する治療法（L4～S2）
16		期末前振り返り
17		後期期末試験
18		期末テスト説明
19		骨盤位（逆子）に対する治療法（三陰交、至陰に灸）
20		治療という行為について考えること。

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	応用実技Ⅳ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等20年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	岩澤 勉
7. 授業形式	実技、講義
8. 授業の目標	人体の構造を学習し、テーピング・ストレッチ、鍼灸施術などの技術を習得する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	鍼灸用具や着替え（ハーフパンツ等）、タブレット等を忘れない事。
11. 教科書	配布資料
12. 副読本	東洋医学臨床論、解剖学、基礎から学ぶスポーツテーピング、経絡経穴。
13. 推薦参考図書	鍼灸技術ガイドⅠ・Ⅱ、アスリートケアマニュアル等

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	上・下肢の筋	筋と身体の運動方向について学ぶ。
2	上・下肢の筋	筋と身体の運動方向について学ぶ。低周波通電療法について学ぶ。
3	下腿の外傷	下腿・足関節のスポーツ障害について学ぶ
4	下腿（基礎から施術）	足関節のテーピング実習等 基礎・実技
5	下腿（基礎から施術）	下腿・足関節のテーピング実習等 実技
6	下腿（基礎から施術）	下腿・足関節の評価、ストレッチ、鍼灸施術（低周波通電療法）
7	膝関節の外傷	膝関節のスポーツ障害について学ぶ
8	膝関節	膝関節のテーピング実習等 基礎・実技
9	膝関節（基礎から施術）	下腿・足関節の評価、ストレッチ、鍼灸施術（低周波通電療法）
10	膝関節（基礎から施術）	下腿・足関節の評価、ストレッチ、鍼灸施術（低周波通電療法）
11	中間試験	中間試験 スポーツ障害についての筆記試験
12	腰部・股関節の外傷	腰部・股関節のスポーツ障害について学ぶ
13	腰部・股関節（基礎から施術）	腰部・股関節のテーピング実習等 基礎・実技
14	腰部・股関節（基礎から施術）	腰部・股関節の評価、ストレッチ、鍼灸施術（低周波通電療法）
15	肩関節の外傷	肩関節のスポーツ外傷について学ぶ
16	肩関節（基礎から施術）	肩関節のテーピング実習等 基礎・実技
17	肩関節（基礎から施術）	肩関節の評価、ストレッチ、鍼灸施術（低周波通電療法）
18	肩関節（基礎から施術）	肩関節の評価、ストレッチ、鍼灸施術（低周波通電療法）
19	期末試験	期末試験 実技試験（低周波通電療法）
20	その他	肘・手指などのスポーツ外傷、テーピング、評価、ストレッチ、鍼灸施術

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床実技Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等20年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	岩澤 勉
7. 授業形式	講義、実技
8. 授業の目標	東洋医学的な診断と証を立てる
9. 成績評価	各試験の結果と授業態度、宿題の提出状況等を加味して評価する。
10. 受講上の注意	講義はPCの準備。各自のタブレット・教科書を忘れないように。実技道具を忘れないようにして下さい。
11. 教科書	東洋医学概論、東洋医学臨床論、授業資料。
12. 副読本	鍼灸技術ガイドⅠ・Ⅱ。
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	証の立て方について	問診内容や話の聞き方について学習する。臓腑と気血津液の関わりと病の成り立ちについて。
2	証から治療へ	弁証について学ぶ。治療方針の立て方と選穴の仕方について。
3	弁証	八綱弁証の証を立てる。気血津液弁証、臓腑弁証について学ぶ。
4	弁証	気血津液弁証の証を立てる。八綱弁証、臓腑弁証について学ぶ。
5	弁証	臓腑弁証の証を立てる。八綱弁証、気血津液弁証について学ぶ。
6	弁証	気血津液弁証の証を立てる八綱弁証、臓腑弁証について学ぶ。
7	弁証	八綱弁証、気血津液弁証（臓腑弁証）を立てる。
8	弁証	三焦弁証、衛気・営血弁証、六経弁証、臓腑弁証を用いて証を立てる。
9		後期中間試験
10	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。
11	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。
12	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。
13	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。
14	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。
15	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。
16	弁証	筆記試験
17		後期期末試験 実技試験
18	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。治療を行う。
19	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。治療を行う。
20	弁証	証立てを行い、治療方針を立てる。治療を行う。

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床実技Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等7年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	行田 直人
7. 授業形式	実技室にて実習を行う
8. 授業の目標	五刺、九刺、常用穴刺鍼および施灸を再理解し、各種疾患に関する鍼灸施術を 実践理解できることを目標とする
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	鍼灸具および教科書を毎回持参すること
11. 教科書	『図解鍼灸臨床手技マニュアル（第2版）』医歯薬出版株式会社 および適時配 布資料
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	刺鍼手技について	単刺・置鍼・回旋・雀啄術等、現行の刺鍼手技を実践し再理解する
2	五刺について	五刺の実践を行いどの様な疾患に活用されるのかを理解する
3	九刺について	九刺の実践を行いどの様な疾患に活用されるのかを理解する
4	背部常用穴刺鍼	背部の刺鍼法・灸法を実践再理解し背部穴を用いる疾患を理解する
5	腰殿部常用穴刺鍼	腰殿部の刺鍼法・灸法を実践再理解し腰殿部穴を用いる疾患を理解する
6	肩部常用穴刺鍼	肩部の刺鍼法・灸法を実践再理解し肩部穴を用いる疾患を理解する
7	上腕部常用穴刺鍼	上腕部の刺鍼法・灸法を実践再理解し上腕部穴を用いる疾患を理解する
8	前腕・手部常用穴刺鍼	前腕・手部の刺鍼法・灸法を実践再理解し前腕・手部穴を用いる疾患を理解する
9	大腿部常用穴刺鍼	大腿部の刺鍼法・灸法を実践再理解し大腿部穴を用いる疾患を理解する
10	膝部常用穴刺鍼	膝部の刺鍼法・灸法を実践再理解し膝部穴を用いる疾患を理解する
11	下腿部常用穴刺鍼	下腿部の刺鍼法・灸法を実践再理解し下腿部穴を用いる疾患を理解する
12	足部常用穴刺鍼	足部の刺鍼法・灸法を実践再理解し足部穴を用いる疾患を理解する
13	胸腹部常用穴刺鍼	胸腹部の刺鍼法・灸法を実践再理解し胸腹部穴を用いる疾患を理解する
14	頭頸・顔面部常用穴刺鍼	頭頸・顔面部の刺鍼法・灸法を実践再理解し頭頸・顔面部穴を用いる疾患を理解する
15	総合復習1	肩部・腰部の整形外科疾患に対する刺鍼・灸法を実践しその手法を理解する
16	総合復習2	膝・足部の整形外科疾患に対する刺鍼・灸法を実践しその手法を理解する
17	総合復習3	内科的疾患（肺・胃腸系）に対する刺鍼・灸法を実践しその手法を理解する
18	総合復習4	六部定位脈診を用いた各種疾患の考え方の例を理解する
19		期末試験
20	総理解	これまでの実技内容について理解を深める

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床実技Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等17年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	千木良 美歩
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	良導絡の理論を知り、理論に基づき測定、診断、治療方針を立て治療することを目指す。美容鍼灸の基本手技を学び実施できるようになることを目的とする。
9. 成績評価	單元ごとの試験と期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	5分の4以上の出席で受験資格を得る
11. 教科書	『良導絡 自律神経調整療法 基礎編』日本良導絡自律神経学会 学術部篇 『よくわかる美容鍼灸』上田隆勇著 三和書籍
12. 副読本	『経絡経穴概論』社団法人 東洋療法学校協会篇 医道の日本社
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	2年生の復習	2年生の復習
2	良導絡自律神経調整療法	良導絡についてP2、P19 測定方法P40～P46 良導点・反応良導点P22-23 カルテへのプロットP47
3		良導絡について、経絡との相違点P24、P26 異常良導絡、生理的範囲P48, 49、50
4		平均電流量についてP51, 52 EAP鍼について鍼の使い方
5		興奮調整についてP60-61 良導絡症候群についてP52～59不問診
6		基本調整法についてP62-63 EAP鍼についてP64 通電について
7		直流電気鍼とはP32-35 反応良導点治療についてP65-68 刺激についてP68-74
8	試験 5/28	良導絡自律神経調整療法の試験
9		良導絡自律神経調整療法の試験
10	美容鍼灸	美容鍼灸の概論
11		禁忌 しわの基礎 しわに対するアプローチ 各論 ほうれい線・口角下端のたるみ
12		全身治療 各論 笑いじわ ほうれい線の上端のしわ
13		顔は心と体を映し出す 各論 下眼瞼のたるみ・しわ カラスの足跡
14		よく見るスキントラブル 各論 前額のしわ、たるみ フェイスラインのたるみ
15		復習
16		顔の悩みに対する特効穴 各論 眼瞼下垂・眉間・鼻根のしわ
17		復習
18		復習
19	試験 7/16	期末試験（美容鍼灸）
20		復習

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床実技Ⅳ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等20年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	岩澤 勉
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	疾患に対して治療。刺鍼・施灸の技術の向上。
9. 成績評価	单元ごとの筆記テスト、実技テスト
10. 受講上の注意	実技道具、KC、タブレットを忘れないでください。
11. 教科書	東洋医学臨床論、鍼灸技術ガイドⅠ・Ⅱ、授業資料
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	刺鍼・施灸について	授業方針、西洋医学・東洋医学での試験方法などの説明。刺鍼と施灸実技
2	東洋医学的施術	東洋医学的な運動器系のとらえ方と施術（痺証について理解と施術）
3	頸・背部	肩こりや頸椎症についての刺針。西洋的治療
4	頸・背部	肩こりや頸椎症についての刺針。東洋的治療
5	試験	東洋医学的な病態のとらえ方と施術方法。（病証の立て方と使用経穴、施術など）
6	試験	頸・背部への刺鍼・施灸のテスト（鍼の方向、深さ、刺鍼・施灸の手順、経穴など）
7	腰背部の施術	腰背部の疾患に対する施術 西洋的治療
8	腰背部の施術	腰背部の疾患に対する施術 東洋的治療
9	試験	東洋医学的な病態のとらえ方と施術方法。（証の立て方と使用経穴、施術など）
10	試験	腰背部への刺鍼・施灸のテスト（鍼の方向、深さ、刺鍼・施灸の手順、経穴など）
11	膝周辺の施術	膝周辺の疾患に対する施術。西洋的治療
12	膝周辺の施術	膝周辺の疾患に対する施術。東洋的治療
13	試験	東洋医学的な病態のとらえ方と施術方法。（証の立て方と使用経穴、施術など）
14	試験	膝への刺鍼・施灸のテスト（鍼の方向、深さ、刺鍼・施灸の手順、経穴など）
15	肩関節周辺の施術（局所）	肩関節周辺の疾患に対する施術
16	肩関節周辺の施術（東洋医学）	肩関節周辺の疾患に対する施術
17	試験	東洋医学的な病態のとらえ方と施術方法。（証の立て方と使用経穴、施術など）
18	試験	肩周辺への刺鍼・施灸のテスト（鍼の方向、深さ、刺鍼・施灸の手順、経穴など）
19	その他の疾患（局所）	局所治療（4大疾患の復習も兼ねる）
20	その他の疾患（東洋医学）	東洋的治療（4大疾患の復習も兼ねる）

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	総合実技Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等13年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	実技、講義
8. 授業の目標	経脈の流注、経穴の名称および部位を覚え、体表面から実際の経穴を取穴できるようにする。経穴部位に関連する体表指標について、解剖学的名称および部位を覚える。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	実技室を使用する際はKＣを着用し、適宜、タオル、ショートパンツ等を用意すること。授業中のタブレット使用は可、スマートフォン使用は禁止です。
11. 教科書	『新版 経絡経穴概論 第2版』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『ツボ暗記カード』 森ノ宮医療学園出版部編 アルテミシア
12. 副読本	『解剖学 第2版』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『針灸学（経穴篇）』 日中共同編集 東洋学術出版社
13. 推薦参考図書	『経穴マップ』 王曉明（著）医歯薬出版 『ツボ単』 形井秀一、高橋研一（監）NTS

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第1章 経脈経穴の基礎	経穴の概要、取穴実技の概要
2	第1章 経脈経穴の基礎	骨度法、体表指標
3	第2章 経脈・経穴	骨度法、体表指標
4	第2章 経脈・経穴	要穴（四総穴・六臓の原穴）の経穴名、部位、取穴
5		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手太陰肺経）
6		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手少陰心経）
7		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手厥陰心包経）
8		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手陽明大腸経）
9		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手陽明大腸経）
10		中間試験
11	第2章 経脈・経穴	経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手太陽小腸経）
12		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手太陽小腸経）
13		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手少陽三焦経）
14		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（手少陽三焦経）
15		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（督脈）
16		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（督脈）
17		期末試験（取穴実技）
18		期末試験
19	第2章 経脈・経穴	経脈の流注、経穴名、部位、取穴（任脈）
20		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（任脈）

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	総合実技Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等13年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	実技、講義
8. 授業の目標	経脈の流注、経穴の名称および部位を覚え、対人で体表面から経穴を取穴できるようにする。経穴部位に関連する体表指標について、解剖学的名称および部位を覚える。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	実技室を使用する際はKCを着用し、適宜、ショートパンツ等を用意すること。東洋医学特有の用語や漢字に慣れ親しむことができるよう、日頃からの学習を期待します。
11. 教科書	『新版 経絡経穴概論 第2版』 公益社団法人 東洋療法学校協会 日本理療科教員連盟 編 医道の日本社
12. 副読本	『解剖学 第2版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社 『針灸学（経穴篇）』 日中共同編集 東洋学術出版社
13. 推薦参考図書	『経穴マップ』 王曉明（著）医歯薬出版 『ツボ単』 形井秀一、高橋研一（監）NTS

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	第2章 経脈・経穴	経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足陽明胃経）
2		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足陽明胃経）
3		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足太陰脾経）
4		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足太陰脾経）
5		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足太陽膀胱経）
6		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足太陽膀胱経）
7		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足太陽膀胱経）
8		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足少陰腎経）
9		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足少陰腎経）
10		後期中間試験
11	第2章 経脈・経穴	経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足少陽胆経）
12		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足少陽胆経）
13		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足少陽胆経）
14		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足厥陰肝経）
15		経脈の流注、経穴名、部位、取穴（足厥陰肝経）
16		後期期末試験（取穴実技）
17		後期期末試験（筆記）
18	第2章 経脈・経穴	奇穴の名称、取り方、主治、取穴
19		奇穴の名称、取り方、主治、取穴
20		奇穴の名称、取り方、主治、取穴

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	総合実技Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	益子 勝良
7. 授業形式	実技
8. 授業の目標	身体診察、テスト法を理解し、実施できる。また、疾病の成り立ちについて理解し、適切な身体診察、テスト法、治療法を行える。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	指示以外のことは実施しない。
11. 教科書	『鍼灸療法技術ガイド』文光堂
12. 副読本	プリント
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	徒手検査法	腰部・股関節の徒手検査法
2	腰部・股関節疾患	椎間板ヘルニア、後縦靱帯骨化症の病態把握・診断方法
3	腰部・股関節疾患	椎間板ヘルニアの治療法
4	腰部・股関節疾患	腰痛症、脊椎分離症・すべり症、変形性脊椎症、脊柱管狭窄症の病態把握・診断方法
5	腰部・股関節疾患	腰痛症の治療法
6	腰部・股関節疾患	変形性股関節症の病態把握・診断方法
7	腰部・股関節疾患	変形性股関節症の治療方法
8	徒手検査法	膝・足関節の徒手検査法
9		後期中間試験
10	膝・足関節疾患	変形性膝関節症の病態把握・診断方法
11	膝・足関節疾患	変形性膝関節症の治療方法
12	膝・足関節疾患	シンスプリント、変形性足関節症の病態把握・診断方法
13		試験練習
14		実技試験
15	膝・足関節疾患	シンスプリントの治療法
16	徒手検査法	頭頸部の徒手検査法
17	頭頸部の疾患	胸郭出口症候群、頸椎捻挫・むちうちの病態把握・診断方法
18		後期期末試験
19	頭頸部の疾患	胸郭出口症候群の治療法
20	頭頸部の疾患	肩甲挙筋の刺鍼法

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床実習Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	石丸 幸宏 他
7. 授業形式	講義及び演習・実習
8. 授業の目標	治療院実習に向けての準備及び実習を実施する。
9. 成績評価	出席及び提出物を中心に評価をする。
10. 受講上の注意	必要なものや服装は事前に連絡します。事前準備・確認をしっかりとって臨んでください。
11. 教科書	その都度指示します。
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		3年生症例発表
2		3年生症例発表
3		3年生症例 検討・調査
4		MOS 臨床実習について
5		診察について
6		診察について
7		診察について
8		診察について
9		診察について
10	演習	診察について
11	演習	診察について
12		論文について
13		見学実習の準備
14		見学実習の準備
15		見学実習の準備
16		見学実習の準備
17		見学実習の準備
18		治療院見学実習 説明
19		治療院の準備と片付け
20		見学実習の準備
21		見学実習の準備
22		見学実習の準備
23		見学実習の準備
24		2年生の臨床実習について
25	実習	治療院実習 ①
26	実習	治療院実習 ①
27	実習	治療院実習 ②
28	実習	治療院実習 ②
29	実習	治療院実習 ③
30	実習	治療院実習 ③

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床実習Ⅱ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	菊地 裕一 手塚 清恵 他
7. 授業形式	授業前に教室での講義か、実技室での実技練習か連絡します。
8. 授業の目標	臨床において必要な技術、知識を身につける。
9. 成績評価	出席状況を中心に、課題の提出状況、実習中の評価を総合的に評価する。
10. 受講上の注意	授業と実習はすべて出席です。やむを得ず休む場合は、必ず事前に連絡し、欠席届を後日、提出すること。
11. 教科書	鍼灸技術ガイドⅠ・Ⅱ
12. 副読本	『図解鍼灸臨床手技マニュアル』医歯薬出版
13. 推薦参考図書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』南江堂

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		外部実習ガイダンス(担架・ユースチーム・郡山シティマラソン)・10分間施灸
2		介護保険について・10分間施灸
3		画像診断 予習 腱・筋肉の復習 10分間施灸
4		外部実習 郡山シティマラソン実習
5		介護実習ガイダンス（車イス・歩行介助）・10分間施灸
6		画像診断
7		画像診断
8		画像診断
9		画像診断
10		画像診断
11		画像診断
12		外部実習 Jリーグ担架救護実習
13		外部実習 福島ユナイテッドFCユースチーム救護
14		介護事前実習
15		介護事前実習
16		外部実習 介護ステーション実習
17		外部実習 介護ステーション実習
18		外部実習 選択（Jリーグ担架救護・福島ユナイテッドFCユースチーム救護・介護）
19		外部実習 選択（Jリーグ担架救護・福島ユナイテッドFCユースチーム救護・介護）
20		外部実習 選択（Jリーグ担架救護・福島ユナイテッドFCユースチーム救護・介護）

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床実習Ⅱ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 通年
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	菊地 裕一 手塚 清恵 他
7. 授業形式	授業前に教室での講義か、実技室での実技練習か連絡をします。
8. 授業の目標	臨床において必要な技術、知識を身につける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業と実習はすべて出席です。やむを得ず休む場合は、必ず事前に連絡し、欠席届を後日提出すること。
11. 教科書	鍼灸技術ガイドⅡ・Ⅲ
12. 副読本	『図解鍼灸臨床手技マニュアル』医歯薬出版
13. 推薦参考図書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』南江堂

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	開業について	治療院名の検討や開業立地、テナント探し、申請書の作成、資金調達等のグループワークによる実習を行います。
2		
3	保険診療について	療養費の基礎について、保険請求の仕組みについて/医療連携について
4		医療連携について

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床実習Ⅲ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	菊地 裕一 手塚 清恵 他
7. 授業形式	授業前に教室での講義か、実技室での実技練習か連絡をします。
8. 授業の目標	臨床において必要な技術、知識を身につける。
9. 成績評価	出席状況を中心に、課題の提出状況、実習中の評価を総合的に評価する。
10. 受講上の注意	授業と実習はすべて出席です。やむを得ず休む場合は、必ず事前に連絡し、欠席届を後日、提出すること。
11. 教科書	鍼灸技術ガイドⅠ・Ⅱ
12. 副読本	『図解鍼灸臨床手技マニュアル』医歯薬出版
13. 推薦参考図書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』南江堂

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		医療面接について
2		治療院見学実習ガイダンス、実技試験について 10分間施灸
3		治療院見学実習
4		治療院見学実習
5		治療院見学実習
6		治療院見学実習
7		治療院見学実習
8		症例発表会（3時間）
9		OSCE 合同練習会
10		実技試験ガイダンス 10分間施灸
11		福鍼協さんの話（開業サポートと療養費）/医療連携について
12		医療連携について
13		実技試験に向けた模擬試験
14		実技試験に向けた模擬試験
15		実技試験 練習
16		実技試験 練習
17		実技試験 練習 試験の流れ確認
18		実技試験 筆記試験（東洋・西洋・経穴）
19		実技試験 練習
20		実技試験
21		開業について
22		開業について
23		来年度の臨床実習の話

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	臨床実習Ⅲ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 通年
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	菊地 裕一 手塚 清恵 他
7. 授業形式	授業前に教室での講義か、実技室での実技練習か連絡をします。
8. 授業の目標	臨床において必要な技術、知識を身につける。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	授業と実習はすべて出席です。やむを得ず休む場合は、必ず事前に連絡し、欠席届を後日提出すること。
11. 教科書	鍼灸技術ガイドⅡ・Ⅲ
12. 副読本	『図解鍼灸臨床手技マニュアル』医歯薬出版
13. 推薦参考図書	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』南江堂

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		症例発表会
2		実技試験練習
3		OSCE練習
4		実技試験練習
5		治療院実習ガイダンス、実技試験について
6		治療院見学実習
7		治療院見学実習
8		治療院見学実習
9		治療院見学実習
10		治療院見学実習
11		実技試験練習
12		開業について・療養費について/医療面接から施術までの流れについて（選穴）
13		実技試験 試験の流れ確認
14		実技試験での取穴模擬試験
15		実技試験での模擬試験（鍼・灸）
16		実技試験での模擬試験（鍼・灸）
17		実技試験練習
18		実技試験練習
19		実技試験
20		実技試験
21		来年度の臨床実習について

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床実習Ⅳ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	実習および症例検討
8. 授業の目標	・本実習は3年間の総まとめとして、直接、外来患者に接することを通じて、授業で学習した知識、技能、態度を臨床現場で統合することを目指す。 ・鍼灸臨床の知識・技術を生かして障害部位、反応点等を把握し、病態に対する鍼灸適用の適・不適の判断や経過・予後の状況等について附属治療院で実習経験することを目的とする。
9. 成績評価	実習および症例検討によるレポートの提出等により総合的に評価する。
10. 受講上の注意	清潔なKCあるいは白衣を着用すること。安全性、衛生面の観点から爪は短く切る、髪の毛をまとめてたばねる、前髪が目にかからないようにする等、清潔感のある身だしなみで実習に望むこと。また、指輪、ネックレス、マニキュアの禁止等、学生規則に則った身だしなみであること。 携帯電話・スマートフォンの使用禁止。 原則として遅刻は認めない。諸事情により欠席する場合は必ず連絡を入れること。
11. 教科書	各自必要な教科書を準備すること。
12. 副読本	『図解 鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ』 矢野忠（編） 文光堂
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		ガイダンス、症例検討①
2		ガイダンス、症例検討②
3		治療体験の事前施術練習①
4		治療体験の事前施術練習②
5		カンファレンス
6		カンファレンス
7		カンファレンス
8		カンファレンス
9		カンファレンス
10		症例発表（クラス内）①
11		症例発表（クラス内）②
12		症例発表（クラス内）③
13		症例発表（クラス内）④
14		症例発表（全学年）①
15		症例発表（全学年）②
16		OSCE復習
17		治療院見学・補助
18		治療院見学・補助
19		治療院見学・補助
20		治療院見学・補助

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	総合領域Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等17年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	千木良美歩
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	あはき師の歴史を知り、現代の課題を理解する。東洋医学の基礎である東洋的思想を知る。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	3分の2以上の出席で受験資格を得る。配布資料は授業時に持参をしてください。
11. 教科書	『新版 東洋医学概論』 社団法人 東洋療法学校協会編 医道の日本社
12. 副読本	『針灸の歴史 悠久の東洋医術』 あじあブックス大修館書店 『医療概論』 社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	『日本医療史』 新村拓 吉川弘文館

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	あはき史について	医学史の意義 はり・きゅうの起源
2	古代の医学と医療	東洋の医学と医療
3	中世の医学と医療	東洋の医学と医療
4	中世の医学と医療	東洋の医学と医療
5	近世の医学と医療	東洋の医学と医療
6	現代の医学と医療	現代医学の課題 西欧近代医学
7	現代の医学と医療	現代医学の課題 東洋医学 現代のはり師きゅう師の現状
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
8		中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
9	第3章 東洋医学の思想	第1節陰陽学説
10		第1節陰陽学説
11		第2節五行学説
12		第2節五行学説
13		第2節五行学説
14		第2節五行学説
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		期末試験
④	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	総合領域Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等7年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	小野 かおり
7. 授業形式	演習
8. 授業の目標	経穴の取穴に必要な人体の骨・筋の位置や名称を把握することを目標とする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	配布したプリントは再配布しません。 色鉛筆を持参してください。
11. 教科書	『解剖学』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社 『ネッター解剖学アトラス』 南江堂 解剖学ワークブック
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	『ネッター解剖学カラーリングテキスト』 南江堂

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	体幹・体肢	体幹・体肢の部位名、そこにある骨
2	上肢	上肢帯の骨
3		上腕の骨
4		前腕の骨
5		手の骨
6	下肢	下肢帯の骨
7		大腿の骨
8		中間試験対策
9		復習
①	統合教育科目Ⅰ	総復習
10		中間試験
②	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業
11	下肢	下腿の骨
12		足の骨
13		期末試験対策
14		期末試験対策
③	統合教育科目Ⅰ	総復習
④	統合教育科目Ⅰ	総復習
15		期末試験
⑤	統合教育科目Ⅰ	試験結果と振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	総合領域Ⅲ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等13年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	塩野 拓人
7. 授業形式	講義、ICT機器
8. 授業の目標	生体の機能としくみの基礎を知り、生体が内外からの刺激にどのように応答するかを理解する。1年次に履修した生理学を総復習する。
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	受験資格を得るためには3分の2以上の出席が必要となる。 医学用語に慣れ親しむことができるよう、日頃からの学習を期待します。
11. 教科書	『生理学 第3版』 公益社団法人 東洋療法学校協会編 医歯薬出版株式会社
12. 副読本	『いちばんやさしい生理学』 加藤尚志 南沢亨(監) 成美堂出版 『生理学ワークブック』 目崎登(監) 他著 医歯薬出版株式会社
13. 推薦参考図書	特になし

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		問題演習および解説・まとめ
2		問題演習および解説・まとめ
3		問題演習および解説・まとめ
4		問題演習および解説・まとめ
5		問題演習および解説・まとめ
6		問題演習および解説・まとめ
7		問題演習および解説・まとめ
①	統合教育科目Ⅱ	総復習
8		後期中間試験
②	統合教育科目Ⅱ	試験結果と振り返り授業
9		問題演習および解説・まとめ
10		問題演習および解説・まとめ
11		問題演習および解説・まとめ
12		問題演習および解説・まとめ
13		問題演習および解説・まとめ
14		問題演習および解説・まとめ
③	統合教育科目Ⅱ	総復習
15		後期期末試験
④	統合教育科目Ⅱ	振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅰ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 通年
5. 単位数	4単位
6. 担当講師	石丸 幸宏 他
7. 授業形式	座学他
8. 授業の目標	各科目の復習と理解を深める
9. 成績評価	期末試験に中間試験・校内模試の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	各科目の中間試験前後や期末試験前後の日程は統合教育科目となり、試験前後の復習などの時間や研修会が対象となります。原則欠席せぬように日程調整と体調管理をしっかりとってください。 期末試験は前期と後期あり、1年次に履修する科目から4択問題を出題し、その正答率が点数となります。
11. 教科書	
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	「国家試験過去問題集 はり師きゅう師用」医道の日本社

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		新入生研修会
2		総復習
3		総復習
4		総復習
5		総復習
6		総復習
7		総復習
8		総復習
9		授業と振り返り授業
10		授業と振り返り授業
11		授業と振り返り授業
12		校内模試
13		授業と振り返り授業
14		授業と振り返り授業
15		授業と振り返り授業
16		授業と振り返り授業
17		授業と振り返り授業
18		授業と振り返り授業
19		授業と振り返り授業
20		総復習
21		総復習
22		総復習
23		総復習
24		総復習
25		総復習
26		総復習
27		総復習
28		総復習
29		総復習
30		総復習
31		総復習
32		総復習
33		定期試験
34		振り返り授業
35		振り返り授業
36		振り返り授業
37		振り返り授業
38		振り返り授業
39		振り返り授業
40		振り返り授業
41		振り返り授業
42		振り返り授業

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 通年
5. 単位数	4単位
6. 担当講師	石丸 幸宏 他
7. 授業形式	座学他
8. 授業の目標	各科目の復習と理解を深めることを目標とする。
9. 成績評価	期末試験に中間試験・校内模試の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	日程を確認し、欠席をしないこと（欠席する場合は事前に連絡すること）。 提出物は必ず提出すること。
11. 教科書	
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		総復習
2		総復習
3		総復習
4		総復習
5		校内模試
6		授業と振り返り授業
7		授業と振り返り授業
8		授業と振り返り授業
9		授業と振り返り授業
10		授業と振り返り授業
11		授業と振り返り授業
12		授業と振り返り授業
13		総復習
14		総復習
15		総復習
16		総復習
17		総復習
18		総復習
19		総復習
20		総復習
21		定期試験
22		授業と振り返り授業
23		授業と振り返り授業
24		授業と振り返り授業
25		授業と振り返り授業
26		授業と振り返り授業
27		授業と振り返り授業
28		授業と振り返り授業
29		授業と振り返り授業
30		授業と振り返り授業
31		振り返り授業
32		振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅱ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 通年
5. 単位数	4単位
6. 担当講師	菊地 裕一 ほか
7. 授業形式	座学、演習
8. 授業の目標	各科目の復習と理解を深める
9. 成績評価	期末試験に中間試験の結果と平常点（小テストや出席、授業態度等）を加味して評価する。
10. 受講上の注意	
11. 教科書	
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1		校内模試
2		校内模試
3		オリエンテーション
4		総復習
5		総復習
6		総復習
7		総復習
8		総復習
9		総復習
10		授業と振り返り授業
11		授業と振り返り授業
12		校内模試
13		解説作成
14		授業と振り返り授業
15		授業と振り返り授業
16		授業と振り返り授業
17		授業と振り返り授業
18		授業と振り返り授業
19		授業と振り返り授業
20		総復習
21		総復習
22		総復習
23		総復習
24		総復習
25		総復習
26		総復習
27		総復習
28		総復習
29		総復習
30		総復習
31		総復習
32		総復習
33		総復習
34		期末試験
35		振り返り授業
36		振り返り授業
37		振り返り授業
38		振り返り授業
39		振り返り授業
40		振り返り授業
41		振り返り授業
42		振り返り授業

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅲ－1A
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	濱津 慶子
7. 授業形式	4択演習と解答解説
8. 授業の目標	国家試験合格のための実力をつけると共に、他の科目との関連性を確認する。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	教科書（解剖学も含む）を必ず持参すること
11. 教科書	生理学（医歯薬出版株式会社）
12. 副読本	特になし
13. 推薦参考図書	生理学 受験と学習マニュアル（桐書房）

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	15章 身体活動の協調他	恒常性の維持
2		血圧調節
3		体液調節
4		体温調節
5		血糖調節
6		代謝とホルモン
7		性周期から妊娠出産
8		期末試験

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅲ－１Ｂ
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 １部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	飯島 直子
7. 授業形式	作製したプリントを中心に授業を進める。教科書も一部参考にする。
8. 授業の目標	国家試験に全員合格できることを目指し授業をする。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	私語や居眠りは厳禁。授業内容は丸暗記でなくなるべく仕組みを理解するように。iPadを必ず持参のこと。
11. 教科書	『病理学概論』 社団法人 東洋療法学校協会 医歯薬出版
12. 副読本	無し
13. 推薦参考図書	『病理学』 堤寛著 医学芸術社

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第6章	進行性病変
2	第6章	進行性病変
3	第6章	進行性病変
4	第4章	循環障害
5	第4章	循環障害
6	第4章	循環障害
7	第5章	退行性病変
8		期末試験

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅲ－2 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	益子 勝良
7. 授業形式	プリント、問題演習
8. 授業の目標	国家試験に必要な臨床医学総論、臨床医学各論の知識を身につける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	常に必要な教科書を準備し、問題に対し真摯に取り組む。また、期日までにしっかりと課題を行っていく。
11. 教科書	『臨床医学総論』・『臨床医学各論』 社団法人東洋療法学校協会編 医歯薬出版
12. 副読本	プリント
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	整形外科疾患	整形外科疾患に関する問題演習
2	整形外科疾患	整形外科疾患に関する解説
3	循環器疾患	循環器疾患に関する問題演習
4	循環器疾患	循環器疾患に関する解説
5	血液疾患	血液疾患に関する問題演習
6	血液疾患	血液疾患に関する解説
7		後期期末試験
8	神経疾患	神経に関する問題演習
9	神経疾患	神経に関する解説
10	リウマチ・膠原病疾患	リウマチ・膠原病疾患に関する問題演習
11	リウマチ・膠原病疾患	リウマチ・膠原病疾患に関する解説
12	その他の領域	その他の領域に関する問題演習
13	その他の領域	その他の領域に関する解説
14	身体診察・臨床検査	身体診察・臨床検査に関する問題演習・解説
15	身体診察・臨床検査	身体診察・臨床検査に関する問題演習・解説

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅲ－3 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等24年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	篠原 勝
7. 授業形式	講 義
8. 授業の目標	リハビリテーションの内容の理解を深める。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	必ず宿題の課題をやること
11. 教科書	医歯薬出版 リハビリテーション医学 第4版
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		第1章A. リハビリテーションと障害～C. 障害の評価1. 心身機能・身体構造の評価)
2		第1章C. 障害の評価2. 活動の評価～9. 摂食障害の評価
3		第1章D. 医学的リハビリテーション1. 理学療法
4		第1章D. 医学的リハビリテーション2. 作業療法～7. リハビリテーション工学
5		第2章A. 脳卒中のリハビリテーション～B 脊髄損傷のリハビリテーション
6		第2章C. 切断のリハビリテーション～J. 心疾患のリハビリテーション
7		第3章 運動の仕組み
8		後期期末試験
9		リハビリテーション医学練習問題1
10		リハビリテーション医学練習問題2
11		リハビリテーション医学練習問題3
12		リハビリテーション医学練習問題4
13		リハビリテーション医学練習問題5
14		リハビリテーション医学練習問題6
15		リハビリテーション医学練習問題7

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅲ－4 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	石丸 幸宏
7. 授業形式	東洋医学臨床論の整形外科系の問題を解くために、徒手検査、治療穴、陽性所見などの必要な知識を過去問を解きながら身に付けていく。
8. 授業の目標	わかっていない部分。曖昧になっている部分をキチンと整理し、出来なかった問題ができるように丁寧に復習をして行く。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	わからなければ質問をする事。間違えた問題を丁寧に内容を整理して、二度と間違えないようにしていく。
11. 教科書	『鍼灸技術ガイドⅠ・Ⅱ』『新版 経絡経穴概論』『東洋医学臨床論』
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		過去問演習
2		過去問演習
3		過去問演習
4		過去問演習
5		過去問演習
6		過去問演習
7		後期期末試験
8		過去問演習
9		過去問演習
10		過去問演習
11		過去問演習
12		過去問演習
13		過去問演習
14		過去問演習
15		過去問演習

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅲ－5 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等3年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	飯田 あずさ
7. 授業形式	問題演習、解説の講義
8. 授業の目標	経穴に関する知識を復習し、国家試験問題に対応できる応用力を身につける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	問題解説は単純作業として行わず、知識の復習と定着のために行うこと。
11. 教科書	『新版 経絡経穴概論 第2版』東洋療法学校協会編 医道の日本社 ※その他、都度自分に必要な教科書や資料を準備すること。
12. 副読本	『新版 東洋医学臨床論（はりきゅう編）』『鍼灸療法技術ガイドⅠ・Ⅱ』
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		問題演習と解説講義（東洋的な臨床問題と経穴）
2		問題演習と解説講義（東洋的な臨床問題と経穴）
3		問題演習と解説講義（東洋的な臨床問題と経穴）
4		問題演習と解説講義（西洋的な臨床問題と経穴）
5		問題演習と解説講義（西洋的な臨床問題と経穴）
6		問題演習と解説講義（西洋的な臨床問題と経穴）
7		問題演習と解説講義（総合）
8		後期期末試験
9		問題演習と解説講義（東洋的な臨床問題と経穴）
10		問題演習と解説講義（東洋的な臨床問題と経穴）
11		問題演習と解説講義（東洋的な臨床問題と経穴）
12		問題演習と解説講義（西洋的な臨床問題と経穴）
13		問題演習と解説講義（西洋的な臨床問題と経穴）
14		問題演習と解説講義（西洋的な臨床問題と経穴）
15		問題演習と解説講義（総合）

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ－1
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	星 伴路
7. 授業形式	過去の国家試験問題を用いての解説講義
8. 授業の目標	これまでに得た知識の整理をし、4択問題を解きながら更なる理解を目指す
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	事前に講義範囲を復習し、疑問点のある程度まとめておく事
11. 教科書	『解剖学 第2版』 社団法人 東洋療法学校協会編
12. 副読本	『ネッター解剖学アトラス 第4版』 F.H.Netter著 相磯貞和訳 南江堂
13. 推薦参考図書	『イラスト解剖学 第7版』 松村 譲児 著 中外医学社 『解剖学講義 改訂3版』 伊藤 隆 著 南山堂

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	ガイダンス	後期授業の進行予定説明と授業内容の説明
2	第1章 人体の構成	国家試験の傾向と対策（組織学）および模試問題等の解説
3	第6章 生殖器系	国家試験の傾向と対策（発生学）および模試問題等の解説
4	第10章 運動器系	国家試験の傾向と対策（運動器）および模試問題等の解説
5	第2章 循環器系	国家試験の傾向と対策（循環器）および模試問題等の解説
6	第3章 呼吸器系	国家試験の傾向と対策（呼吸器）および模試問題等の解説
7	第4章 消化器系	国家試験の傾向と対策（消化器）および模試問題等の解説
8		期末試験(統合教育科目・解剖学範囲)の解説
9	第5.6章 泌尿生殖器系	国家試験の傾向と対策（泌尿器・生殖器系）および模試問題等の解説
10	第7章 内分泌系	国家試験の傾向と対策（内分泌器）および模試問題等の解説
11	第8章 神経系（中 枢）	国家試験の傾向と対策（中枢神経）および模試問題等の解説
12	第8章 神経系（末 梢）	国家試験の傾向と対策（末梢神経）および模試問題等の解説
13	第9章 感覚器系	国家試験の傾向と対策（感覚器）および模試問題等の解説
14	第8章 神経系（末 梢）	国家試験の傾向と対策（伝導路）および模試問題等の解説
15	第10章 運動器系	国家試験の傾向と対策（局所・体表解剖）および模試問題等の解説

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ－2－A
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	菊地 裕一
7. 授業形式	過去の国家試験問題を用いて国家試験対策を中心に行う。
8. 授業の目標	国家試験に対応するための基礎的な部分を抑え、重要項目を把握し国家試験に対応できる力をつける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	配布プリントは各自で整理整頓し、いつでも復習できるようにしておくこと。
11. 教科書	衛生学・公衆衛生学
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	公衆衛生がみえる2022-2023 MEDICMEDIA

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	国家試験対策	大項目3：ライフスタイルと健康
2		大項目4：環境と健康
3		大項目7：母子保健 大項目8：学校保健
4		大項目10：感染症とその対策
5		大項目10：感染症とその対策
6		大項目2：健康の保持増進と疾病予防 大項目5：産業保健
7		大項目11：消毒法 大項目12：疫学
8		大項目13：保健統計

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ－2－B
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	飯島 直子
7. 授業形式	作製したプリントと教科書を中心に進める。iPadを使用する。.
8. 授業の目標	国家試験に全員合格できることを目指して授業をする。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	私語や居眠りは厳禁。丸暗記でなく仕組みを理解するように。
11. 教科書	『病理学概論』 社団法人 東洋療法学校協会 医歯薬出版
12. 副読本	なし
13. 推薦参考図書	『病理学』 堤寛著 医学芸術社

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	第4章、第5章	循環障害、退行性病変
2	第7章	炎症
3	第8章	腫瘍
4	第8章	腫瘍
5	第9章	免疫異常・アレルギー
6	第10章	先天性異常
7	第3章	病因

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ－3
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	濱津 慶子
7. 授業形式	講義
8. 授業の目標	国家試験に合格するための実力をつける。
9. 成績評価	期末試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	教科書と筆記用具は必携。解剖学（教科書）の持参を求めることがある。
11. 教科書	生理学 第3版 医歯薬出版
12. 副読本	特になし
13. 推薦参考図書	カラー図解 人体の正常構造と機能 日本医事新報社

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	全範囲	問題演習と解答解説
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ－4 ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等21年勤務）
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年 後期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	手塚 清恵
7. 授業形式	自己学習
8. 授業の目標	各教科の総復習
9. 成績評価	授業態度や勉強に対する意欲
10. 受講上の注意	自分に必要な教科書・資料を必ず持ってくること。
11. 教科書	全教科
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
2	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
3	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
4	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
5	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
6	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
7	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
8	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
9	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
10	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
11	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）
12	問題演習	四択問題（全教科、全範囲）

2024年度 講義計画書（後期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ-5
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・通年
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	飯田 あずさ、他
7. 授業形式	鍼灸国家試験に向けて国家試験と同様の形式の模擬試験を行う。
8. 授業の目標	国家試験合格のために、問題数や解答方法、出題傾向に慣れ、対応できるようになる。
9. 成績評価	定期試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	事前に模試の日程を確認し、事前に欠席しなければならない場合は欠席届を提出すること。 模擬試験当日に、欠席せざる負えなくなった場合は、試験開始時間前に鍼灸科校舎に電話をすること。
11. 教科書	国家試験に出題される科目すべての教科書や参考書
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		オリエンテーション
2		校内模試
3		校内模試
4		合同模試
5		合同模試
6		校内模試
7		校内模試
8		論文大会
9		合同模試
10		合同模試
11		総復習
12		総復習
13		総復習
14		総復習
15		総復習
16		総復習
17		総復習
18		総復習
19		校内模試
20		校内模試
21		校内模試
22		校内模試
23		合同模試
24		合同模試
25		後期期末試験
26		後期期末試験
27		校内模試
28		校内模試
29		合同模試
30		合同模試
31		校内模試
32		校内模試

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	統合教育科目Ⅳ-5
2. 科目分類	専門分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・通年
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	飯田 あずさ、他
7. 授業形式	鍼灸国家試験に向けて国家試験と同様の形式の模擬試験を行う。
8. 授業の目標	国家試験合格のために、問題数や解答方法、出題傾向に慣れ、対応できるようになる。
9. 成績評価	定期試験の結果で評価する。
10. 受講上の注意	事前に模試の日程を確認し、事前に欠席しなければならない場合は必ず欠席届を提出すること。 模擬試験当日に欠席せざるを得なくなった場合は、試験開始時間前に学校に電話連絡をすること。
11. 教科書	国家試験に出題される科目すべての教科書や参考書
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単元	概要
1		オリエンテーション
2		校内模試
3		校内模試
4		合同模試
5		合同模試
6		校内模試
7		校内模試
8		論文大会
9		合同模試
10		合同模試
11		校内模試
12		校内模試
13		校内模試
14		校内模試
15		合同模試
16		合同模試
17		後期期末試験
18		後期期末試験
19		校内模試
20		校内模試
21		合同模試
22		合同模試
23		校内模試
24		校内模試
25		国家試験対策
26		国家試験対策
27		国家試験対策
28		国家試験対策
29		国家試験対策
30		国家試験対策
31		国家試験対策
32		国家試験対策

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	職業教育Ⅰ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等8年勤務）
2. 科目分類	応用分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第1学年 通年
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	石丸 幸宏 他
7. 授業形式	直前にどのような事をするのか案内をいたします。
8. 授業の目標	知見の幅を広げることを目的とし、積極的に参加することを目標とします。
9. 成績評価	出席率を基本として、課題の提出率、態度（積極性など）を基に評価します。
10. 受講上の注意	原則的にすべて出席できるように日程調整や体調管理をしましょう。
11. 教科書	
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		ICT設定、担架救護事前授業
2		新入生研修会
3		卒業生講演
4		校内学術論文大会
5		担架救護
6		卒業生講演
7		模試 問題解説作成
8		学会参加

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	職業教育Ⅱ ※実務経験のある教員の授業科目（鍼灸院等4年勤務）
2. 科目分類	応用分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第2学年 通年
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	菊地 裕一 ほか
7. 授業形式	講義他
8. 授業の目標	様々な分野での学びを通じ、幅広く知識を取り入れる。
9. 成績評価	出席状況、課題・レポートの提出状況などで評価する。
10. 受講上の注意	必ず出席してください（やむを得ない事情で欠席する場合には事前に連絡すること）。
11. 教科書	
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール

回数	単 元	概 要
1		模試問題解説作成
2		卒業生講演
3		学術論文大会
4		解剖見学実習（福島県立医科大学）
5		卒業生講演
6		鍼灸科交流会
7		模試問題解説作成
8		全日本鍼灸学会 東北支部 A/B講座

2024年度 講義計画書（前期）

1. 科目名	臨床研修
2. 科目分類	応用分野
3. 対象学科	鍼灸科 1部
4. 対象学年・対象学期	第3学年・前期
5. 単位数	1単位
6. 担当講師	千木良 美歩
7. 授業形式	台湾の中医薬大学にて講義または、臨床施設見学等
8. 授業の目標	日本と環境の違いや中医学特有の鍼灸の治療アプローチの違いを知り、経験を臨床に活かせるようにする。
9. 成績評価	出席とレポート提出によって評価する。
10. 受講上の注意	健康に留意して礼節を大事にし、団体行動を意識して行動する。
11. 教科書	
12. 副読本	
13. 推薦参考図書	

14. 講義スケジュール		
回数	単 元	概 要
1	台湾海外研修 事前説明	台湾研修に関わる事前説明及び準備
2		同上
3		同上
4		同上
5	台湾海外研修	台湾の中国医薬大学にて現地の臨床施設の見学や現地の講師による講義の聴講を行う。
6		同上
7		同上
8		同上
9		同上
10		同上